

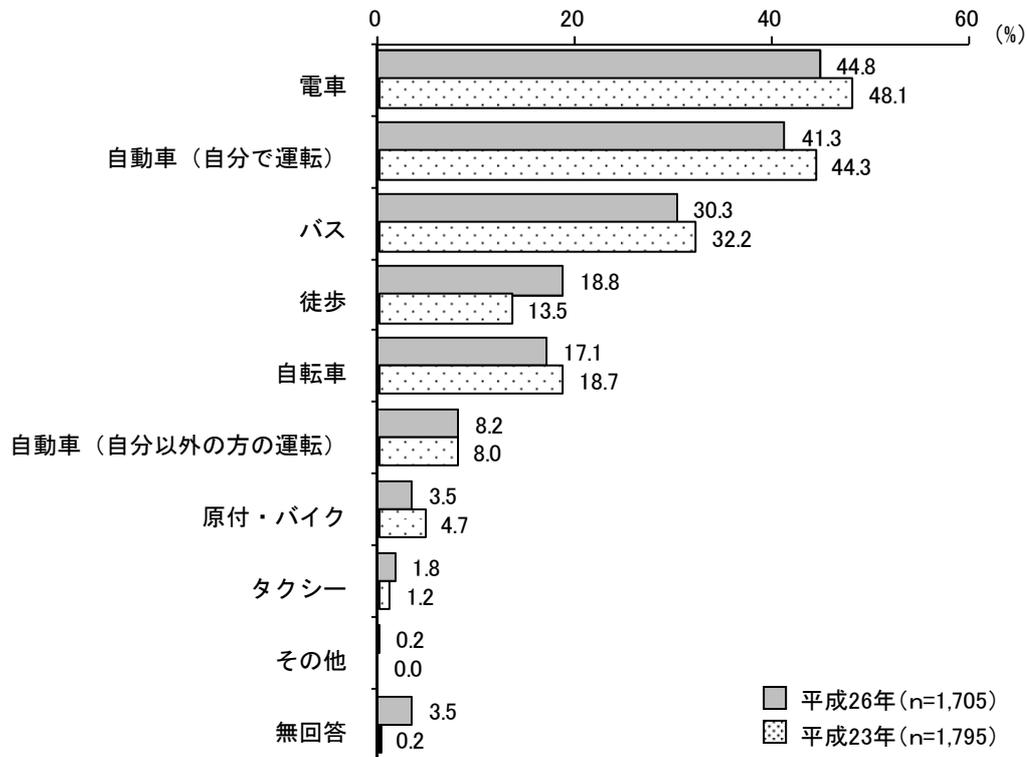
3. 都市交通

(1) 利用する交通手段

◇「電車」が4割台半ば

問17 あなたは日常、主にどのような交通手段を利用していますか。(〇は2つまで)。

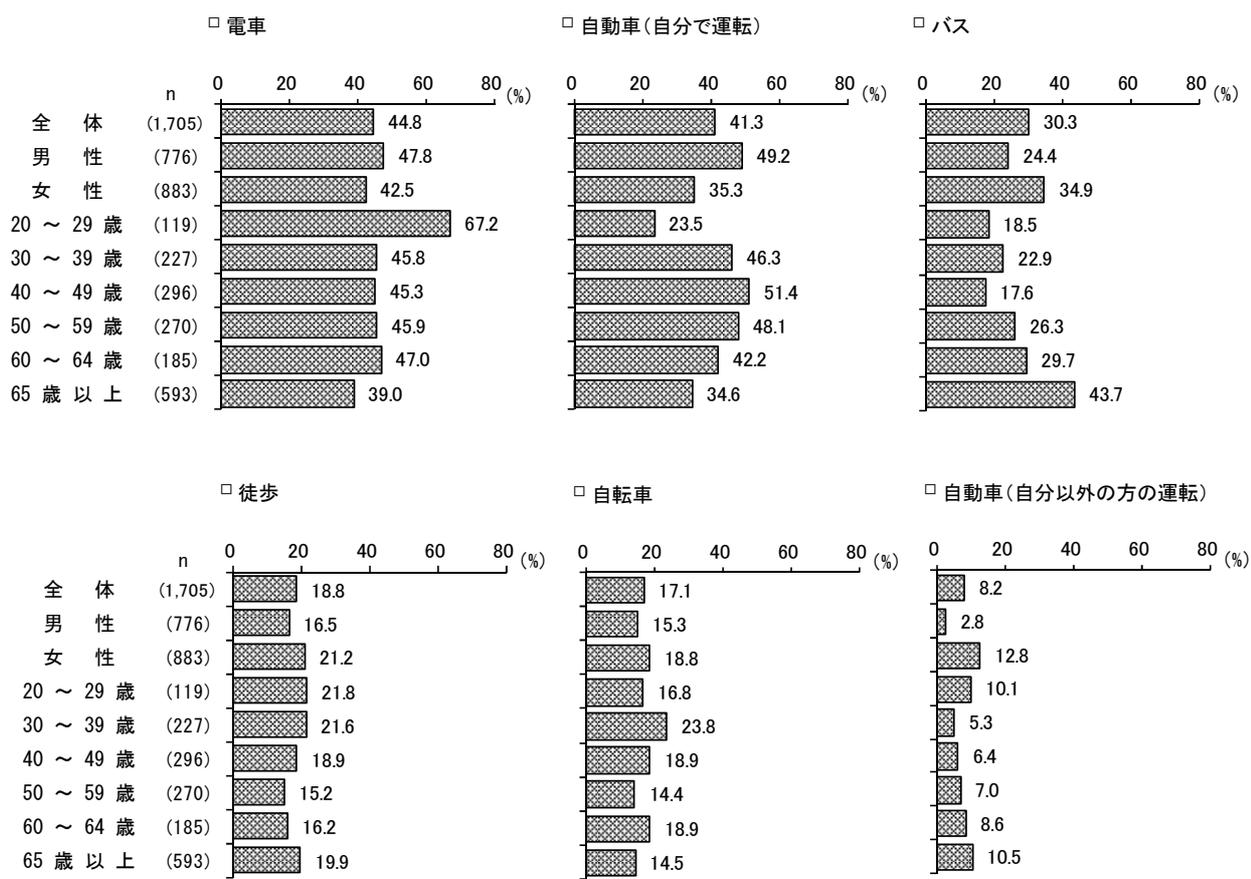
図3-1-1 利用する交通手段—全体、経年比較



日常、主にどのような交通手段を利用しているか聞いたところ、「電車」(44.8%)が最も多く4割台半ばとなっている。次いで「自動車(自分で運転)」(41.3%)、「バス」(30.3%)、「徒歩」(18.8%)、「自転車」(17.1%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「電車」、「自動車(自分で運転)」、「バス」、「自転車」では割合が低くなっている。一方、「徒歩」は5.3ポイント増加している。(図3-1-1)

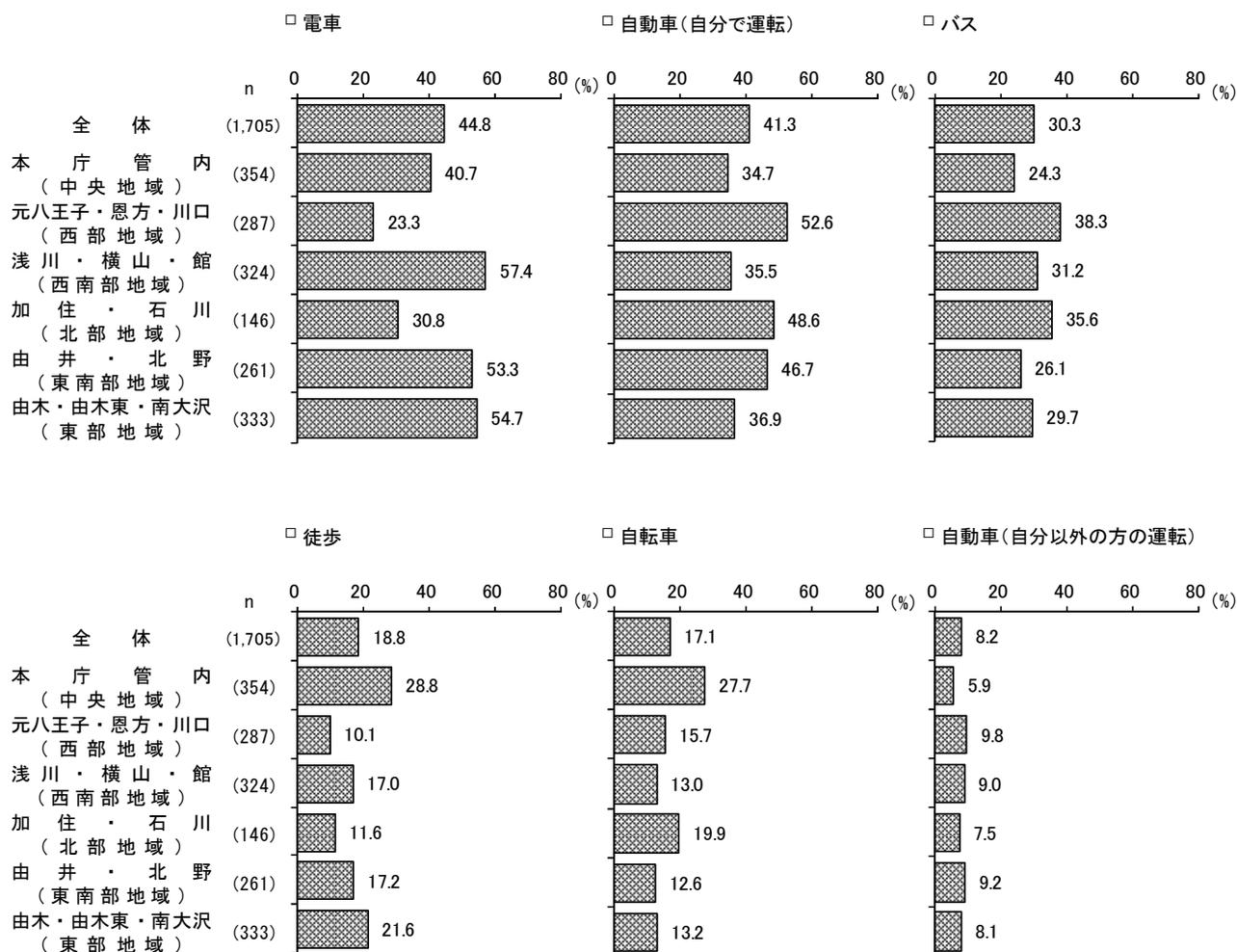
図3-1-2 利用する交通手段—性別・年齢別（上位6位）



性別にみると、「自動車（自分で運転）」は男性の方が女性よりも13.9ポイント高く、「バス」は女性の方が男性よりも10.5ポイント、「自動車（自分以外の方の運転）」は10.0ポイント高くなっている。

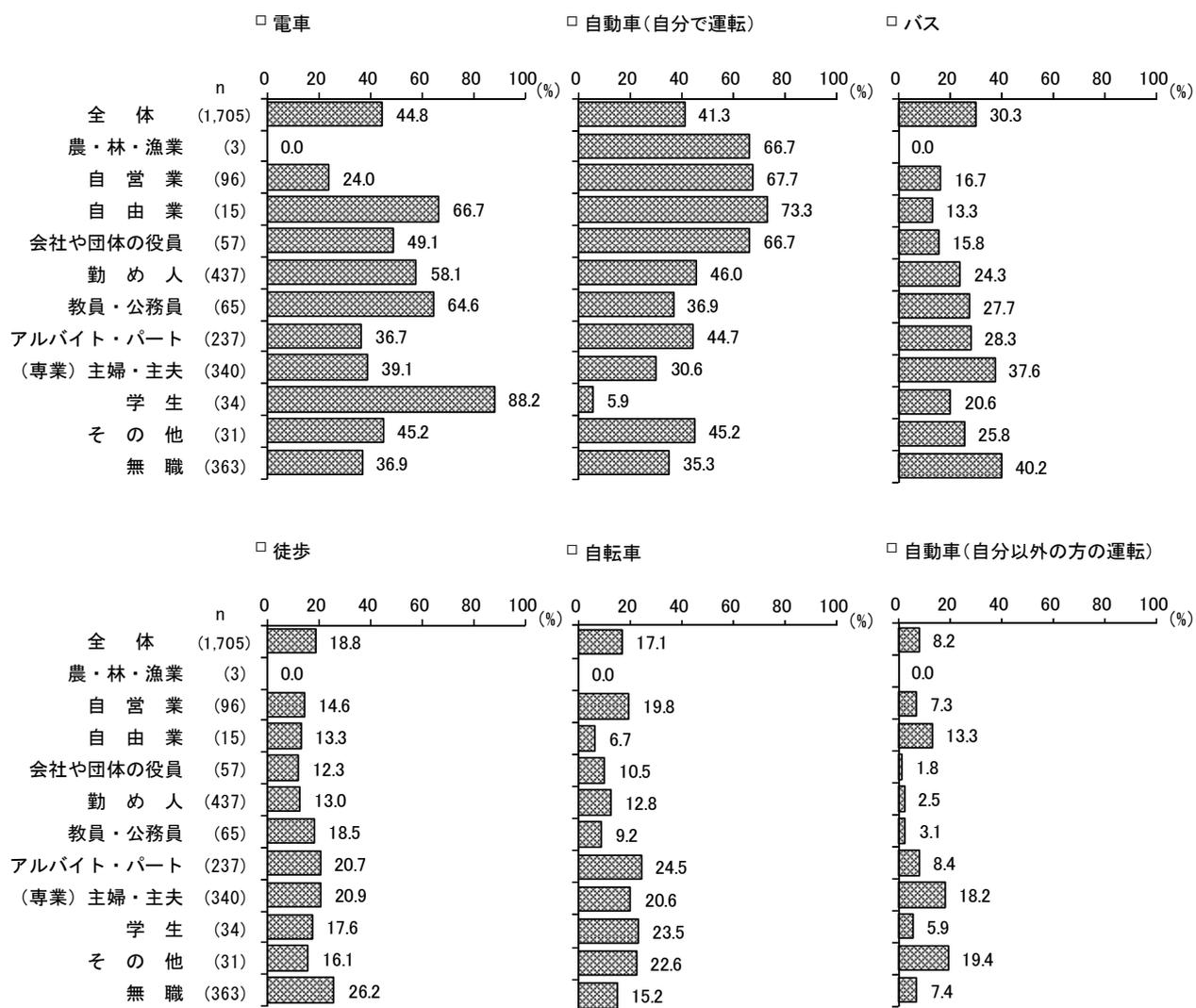
年齢別にみると、「電車」は20～29歳（67.2%）で最も多く7割近くとなっている。「自動車（自分で運転）」は40～49歳（51.4%）で5割強、「バス」は65歳以上（43.7%）で4割強と多くなっている。（図3-1-2）

図3-1-3 利用する交通手段—居住地域別（上位6位）



居住地域別にみると、「電車」は浅川・横山・館（西南部地域）（57.4%）、由井・北野（東南部地域）（53.3%）及び由木・由木東・南大沢（東部地域）（54.7%）で5割以上と多くなっている。「電車」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（23.3%）で他の地域と比較して少ないが、「自動車（自分で運転）」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（52.6%）で5割強、「バス」も元八王子・恩方・川口（西部地域）（38.3%）で4割近くと、他の地域と比較して多くなっている。「徒歩」は本庁管内（中央地域）（28.8%）で、「自転車」は本庁管内（中央地域）（27.7%）で3割近くと多くなっている。（図3-1-3）

図3-1-4 利用する交通手段－職業別（上位6位）



職業別にみると、「電車」は学生（88.2%）で最も多く9割近くとなっている。「自動車（自分で運転）」は自由業（73.3%）で7割強と多くなっている。「バス」は（専業）主婦・主夫（37.6%）で4割近くと多くなっている。（図3-1-4）

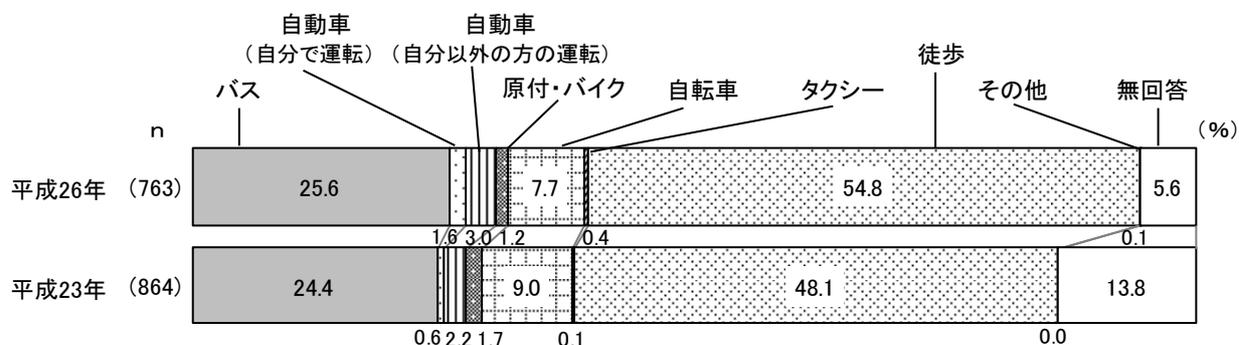
(2) 駅までの主な交通手段

◇「徒歩」が5割台半ば

(問17で「1 電車」とお答えの方に)

問17-1 駅までは主にどのような交通手段を利用していますか。(○は1つだけ)

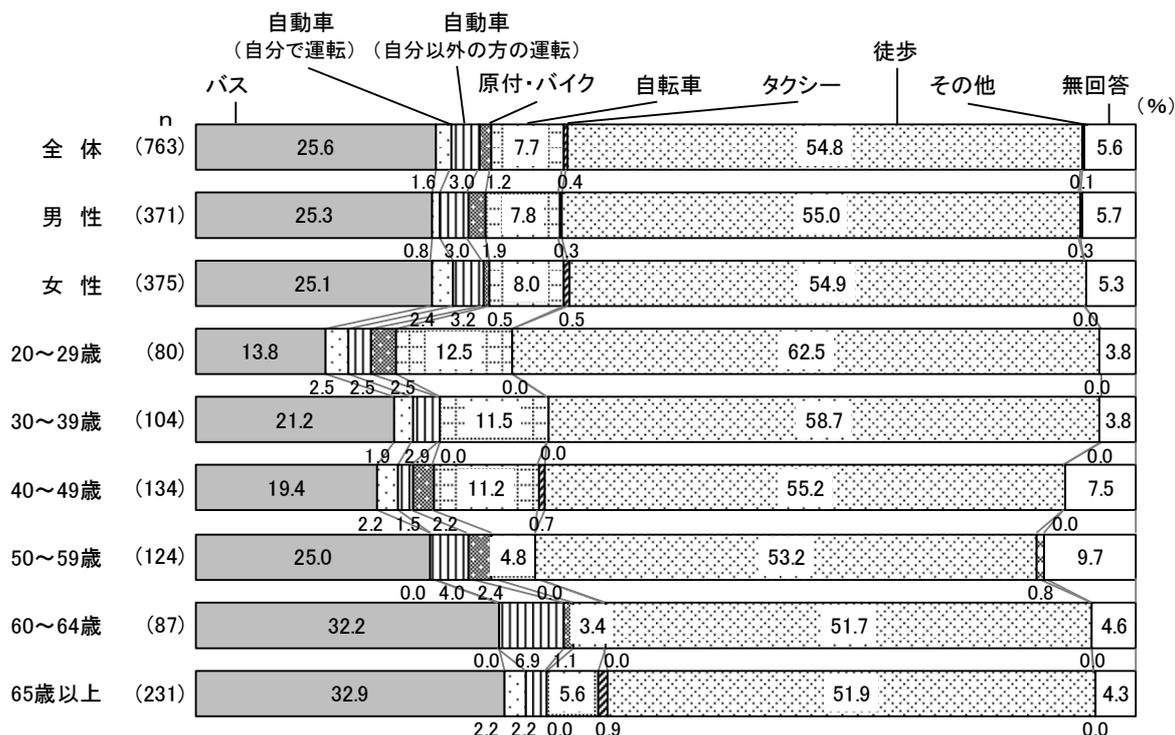
図3-2-1 駅までの主な交通手段—全体、経年比較



日常の交通手段で「電車」を利用していると回答した763人に、駅までの交通手段を聞いたところ、「徒歩」(54.8%)が最も多く5割台半ばを占めている。次いで「バス」(25.6%)、「自転車」(7.7%)、「自動車(自分以外の方の運転)」(3.0%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「徒歩」は6.7ポイント増加している。(図3-2-1)

図 3-2-2 駅までの主な交通手段—性別・年齢別

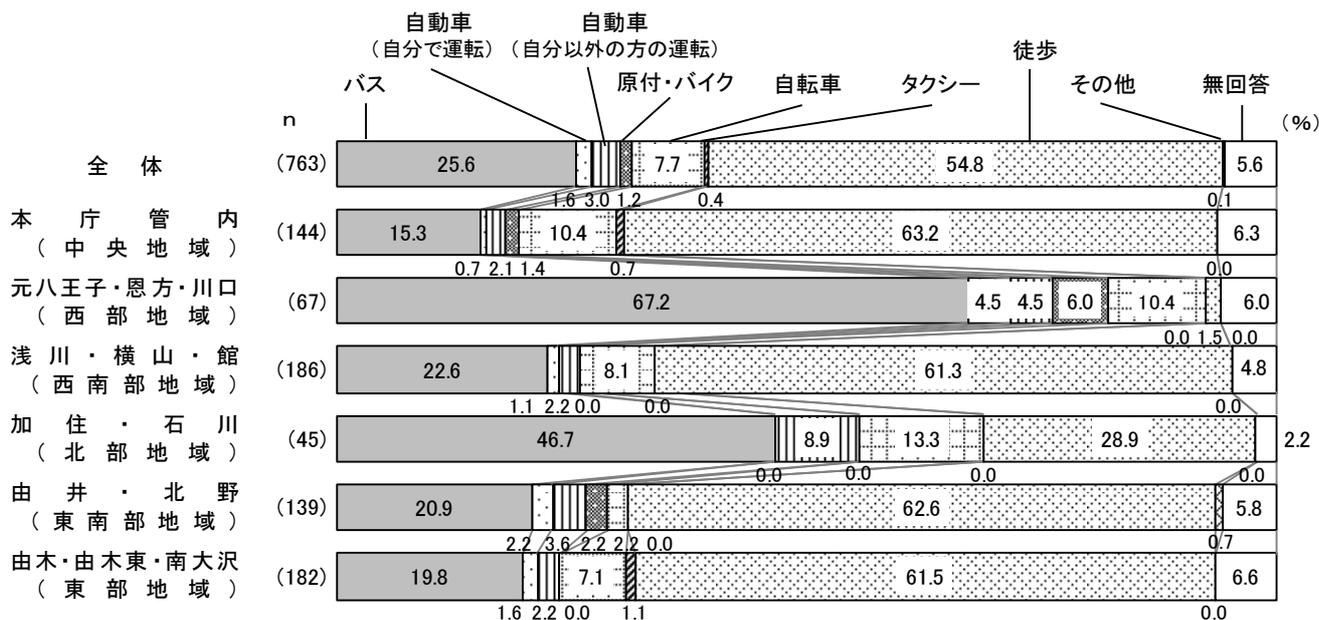


性別にみると、男性と女性で大きな差はみられない。

年齢別にみると、「徒歩」は20~29歳（62.5%）で6割強と多くなっている。「バス」は年代が上がるにつれておおむね割合が多くなり、65歳以上（32.9%）では3割強となっている。

(図 3-2-2)

図 3-2-3 駅までの主な交通手段—居住地域別



居住地域別にみると、「バス」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（67.2%）で7割近くと、他の地域と比較して最も多くなっている。(図 3-2-3)

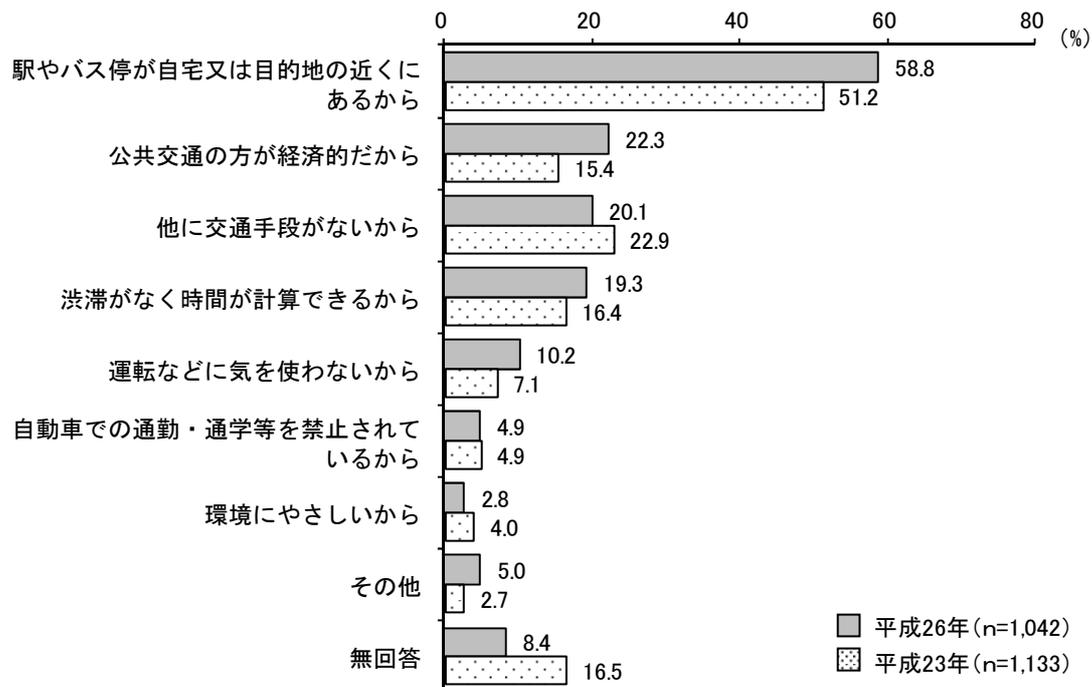
(3) 電車、バスの公共交通を利用する理由

◇「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」が6割近く

(問17で「1 電車」または「2 バス」とお答えの方に)

問17-2 あなたが交通手段として電車、バスなどの公共交通を利用する理由は何ですか。
(○は2つまで)

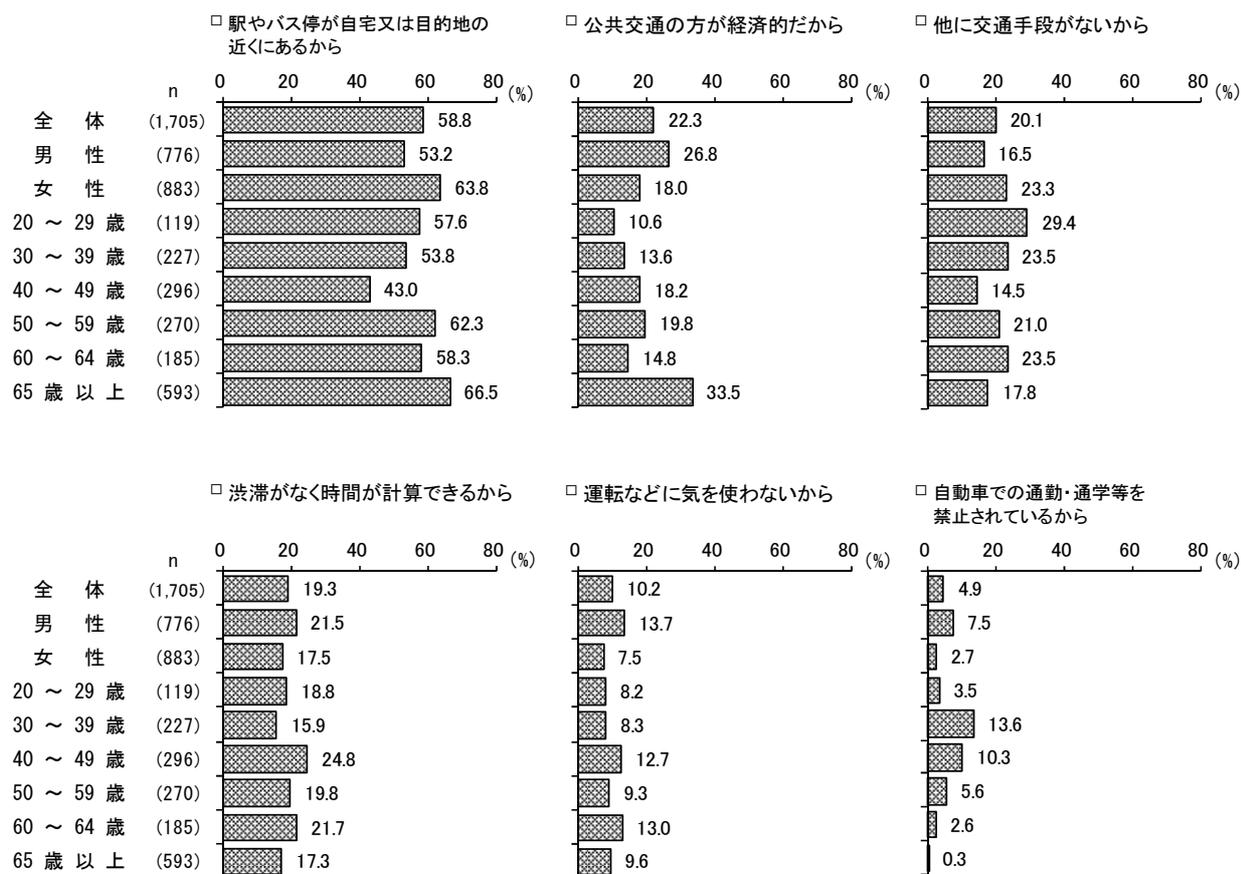
図3-3-1 電車、バスの公共交通を利用する理由—全体、経年比較



日常の交通手段で「電車」または「バス」を利用していると回答した1,042人に、電車やバスを利用する理由を聞いたところ、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」(58.8%)が最も多く6割近くとなっている。次いで「公共交通の方が経済的だから」(22.3%)、「他に交通手段がないから」(20.1%)、「渋滞がなく時間が計算できるから」(19.3%)、「運転などに気を使わないから」(10.2%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は7.6ポイント、「公共交通の方が経済的だから」は6.9ポイント増加している。(図3-3-1)

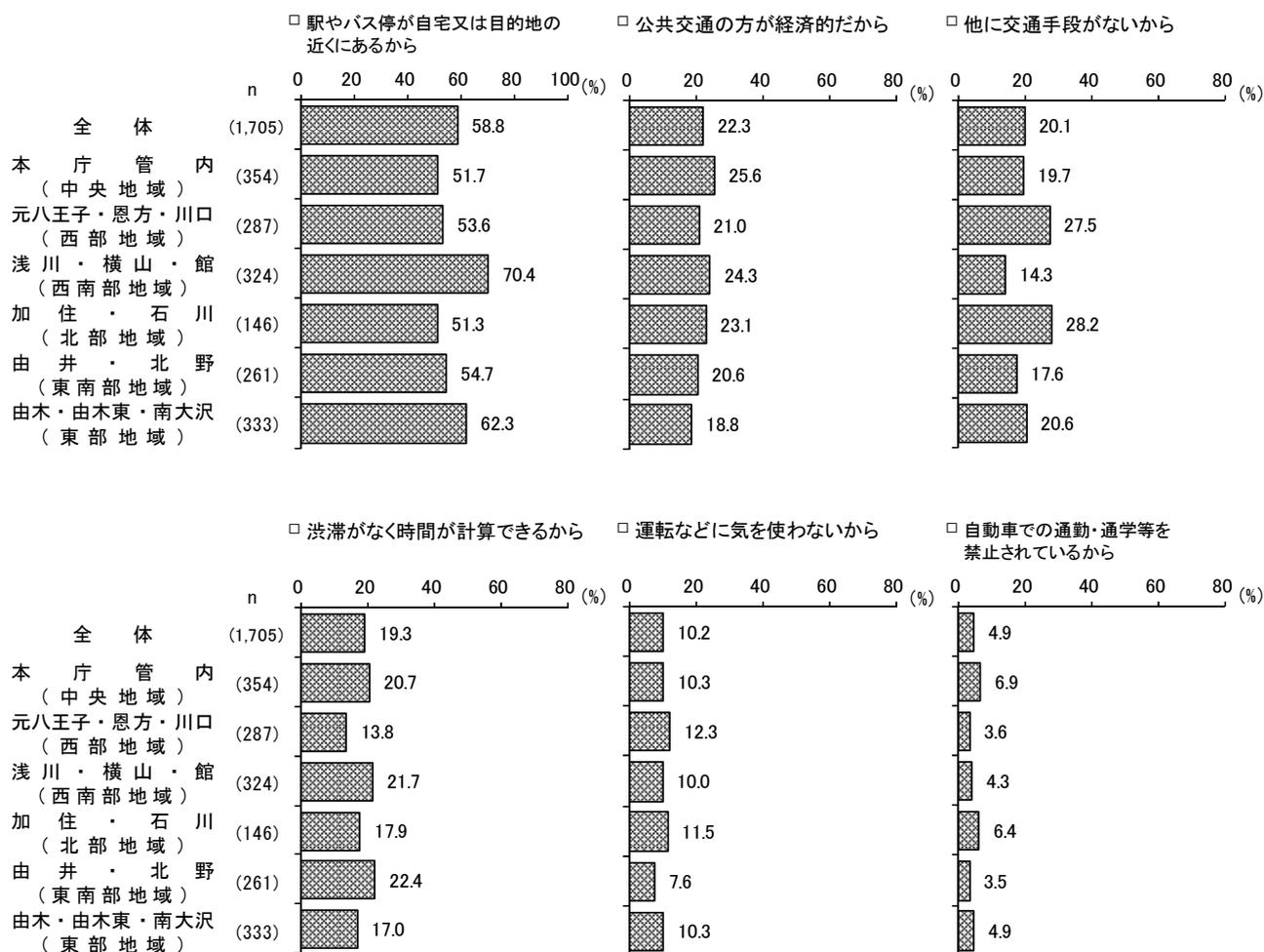
図3-3-2 電車、バスの公共交通を利用する理由—性別・年齢別（上位6位）



性別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は女性の方が男性よりも10.6ポイント高く、「公共交通の方が経済的だから」は男性の方が女性よりも8.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は65歳以上（66.5%）で7割近く、「公共交通の方が経済的だから」も65歳以上（33.5%）で3割強と、他の年代と比較して多くなっている。「他に交通手段がないから」は20～29歳（29.4%）で3割弱と多くなっている。また、「渋滞がなく時間が計算できるから」は40～49歳（24.8%）で2割台半ばと多くなっている。（図3-3-2）

図 3-3-3 電車、バスの公共交通を利用する理由—居住地域別（上位 6 位）



居住地域別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は浅川・横山・館（西南部地域）（70.4%）で約7割と、他の地域と比較して多くなっている。「他に交通手段がないから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（27.5%）と加住・石川（北部地域）（28.2%）で3割近くと多くなっている。（図 3-3-3）

(4) 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離

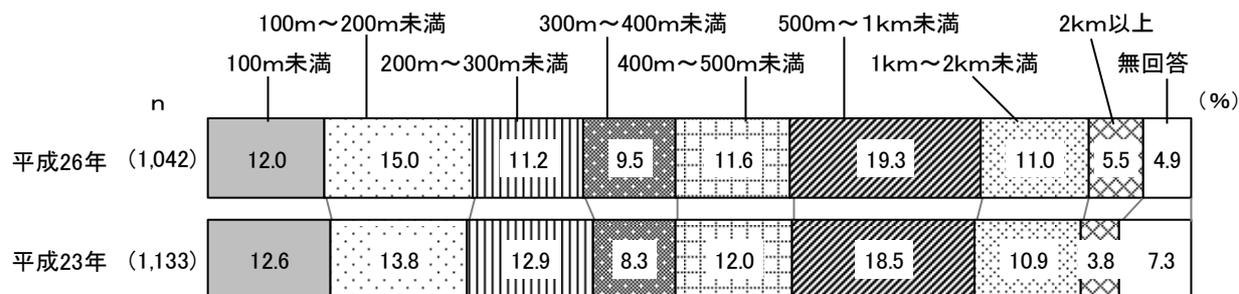
◇《500m未満》が6割弱

(問17で「1 電車」または「2 バス」とお答えの方に)

問17-3 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離はどれくらいですか。

(○は1つだけ)

図3-4-1 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離-全体、経年比較

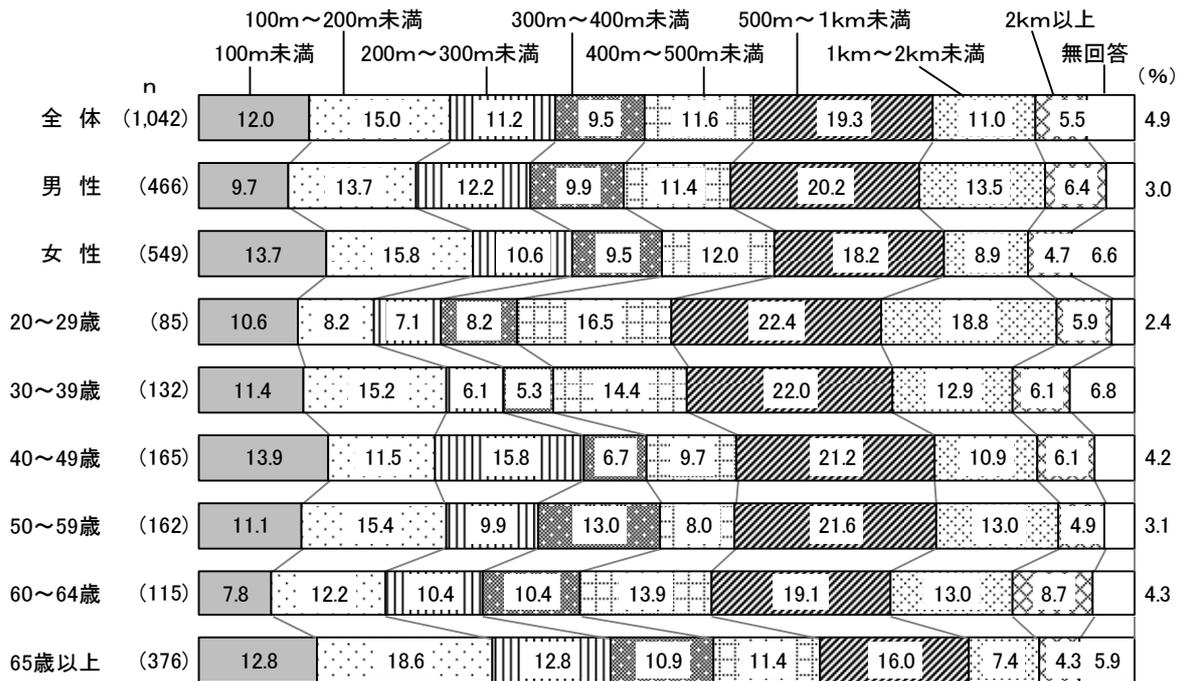


日常の交通手段で「電車」または「バス」を利用していると回答した1,042人に、自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離を聞いたところ、「500m~1km未満」(19.3%)が最も多く2割弱となっている。次いで「100m~200m未満」(15.0%)、「100m未満」(12.0%)、「400m~500m未満」(11.6%)、「200m~300m未満」(11.2%)などの順となっている。

「100m未満」から「400m~500m未満」を合わせた《500m未満》(59.3%)は6割弱となっている。

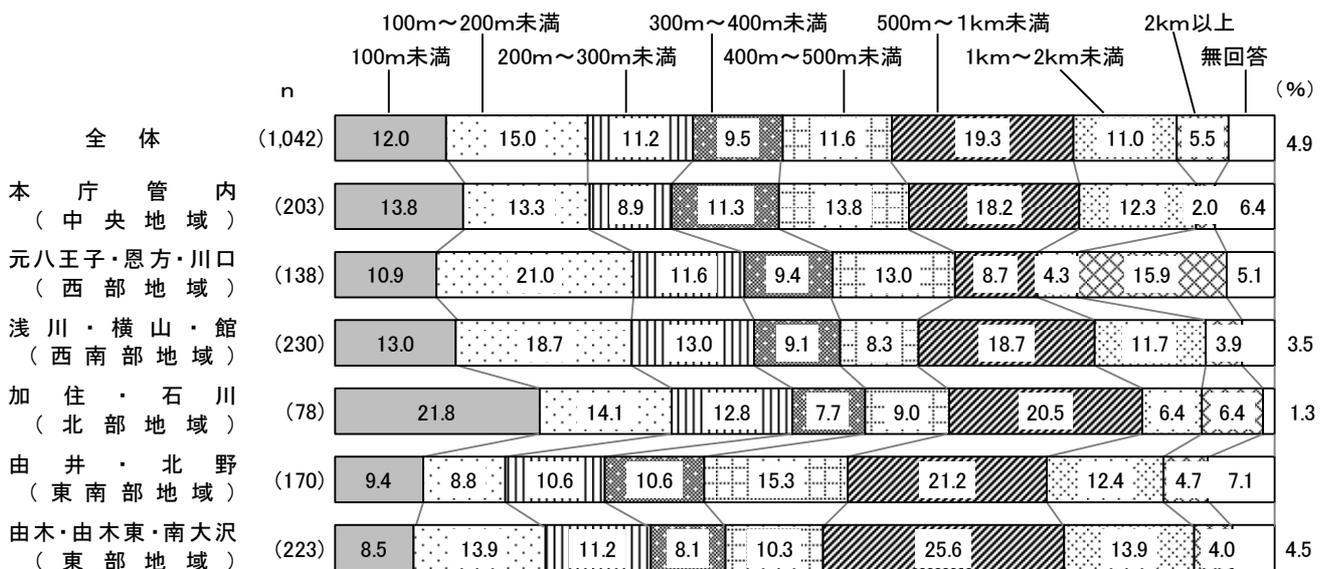
前回調査と比較すると、大きな差はみられない。(図3-4-1)

図3-4-2 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離—性別・年齢別



性別にみると、《500m未満》は女性の方が男性よりも4.7ポイント高くなっている。
 年齢別にみると、《500m未満》は65歳以上（66.5%）で7割近くと多くなっている。
 (図3-4-2)

図3-4-3 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離—居住地域別



居住地域別にみると、《500m未満》は元八王子・恩方・川口（西部地域）（65.9%）と加住・石川（北部地域）（65.4%）で6割台半ばと多くなっている。(図3-4-3)

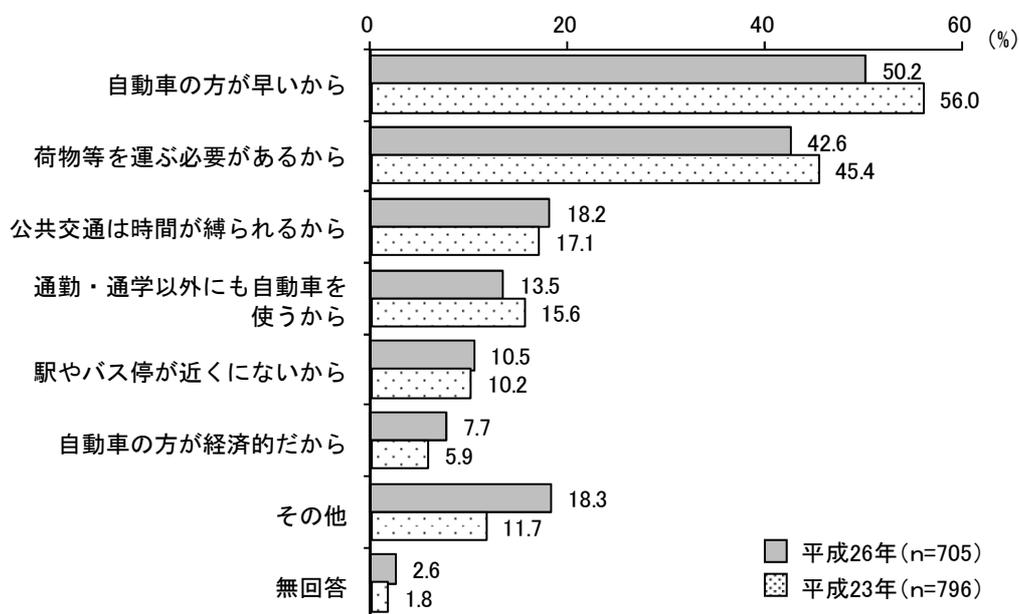
(5) 交通手段として自動車を利用する理由

◇「自動車の方が早いから」が約5割

(問17で「3 自動車(自分で運転)」とお答えの方に)

問17-4 あなたが交通手段として自動車を利用する理由は何ですか。(○は2つまで)

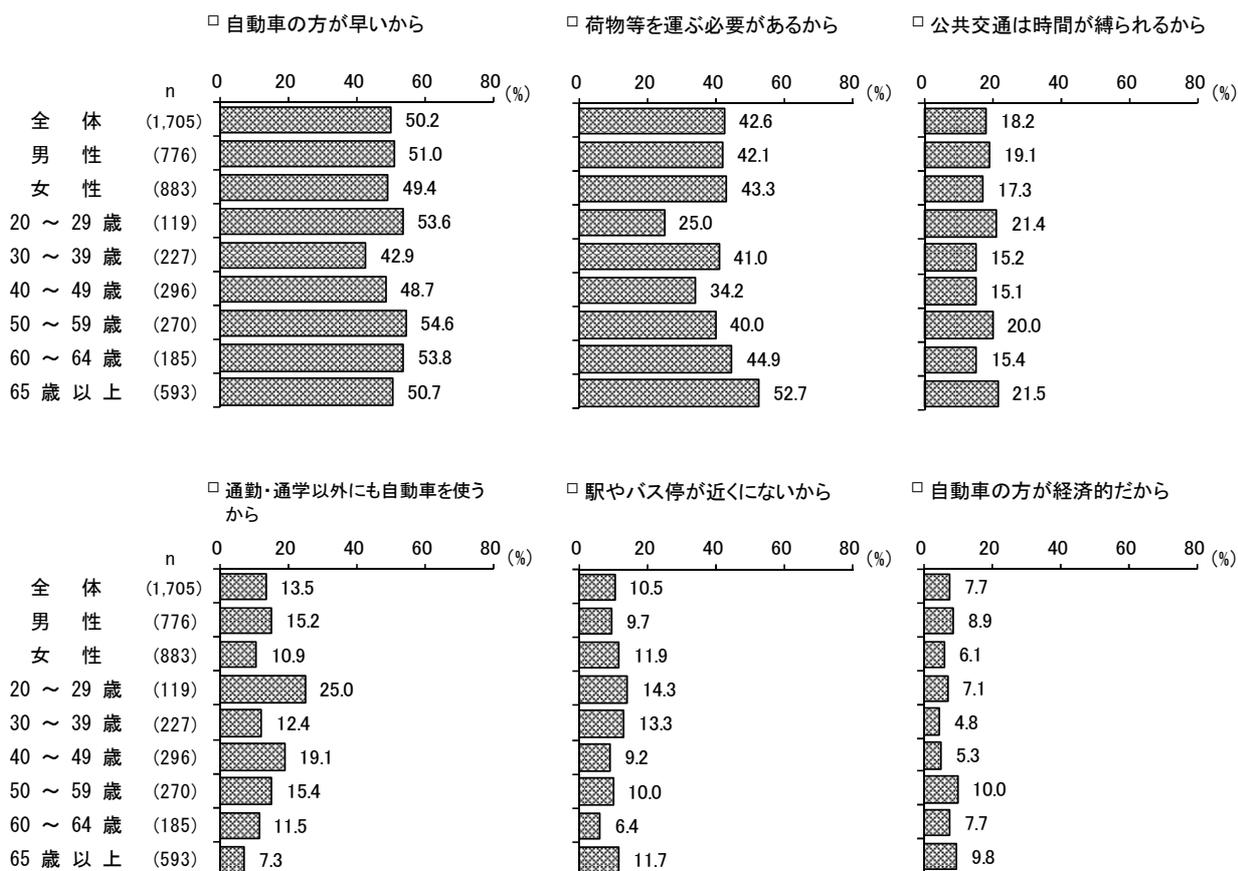
図3-5-1 交通手段として自動車を利用する理由—全体、経年比較



日常の交通手段で「自動車(自分で運転)」を利用していると回答した705人に、交通手段として自動車を利用する理由を聞いたところ、「自動車の方が早いから」(50.2%)が最も多く約5割となっている。次いで「荷物等を運ぶ必要があるから」(42.6%)、「公共交通は時間が縛られるから」(18.2%)、「通勤・通学以外にも自動車を使うから」(13.5%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「自動車の方が早いから」は5.8ポイント減少している。(図3-5-1)

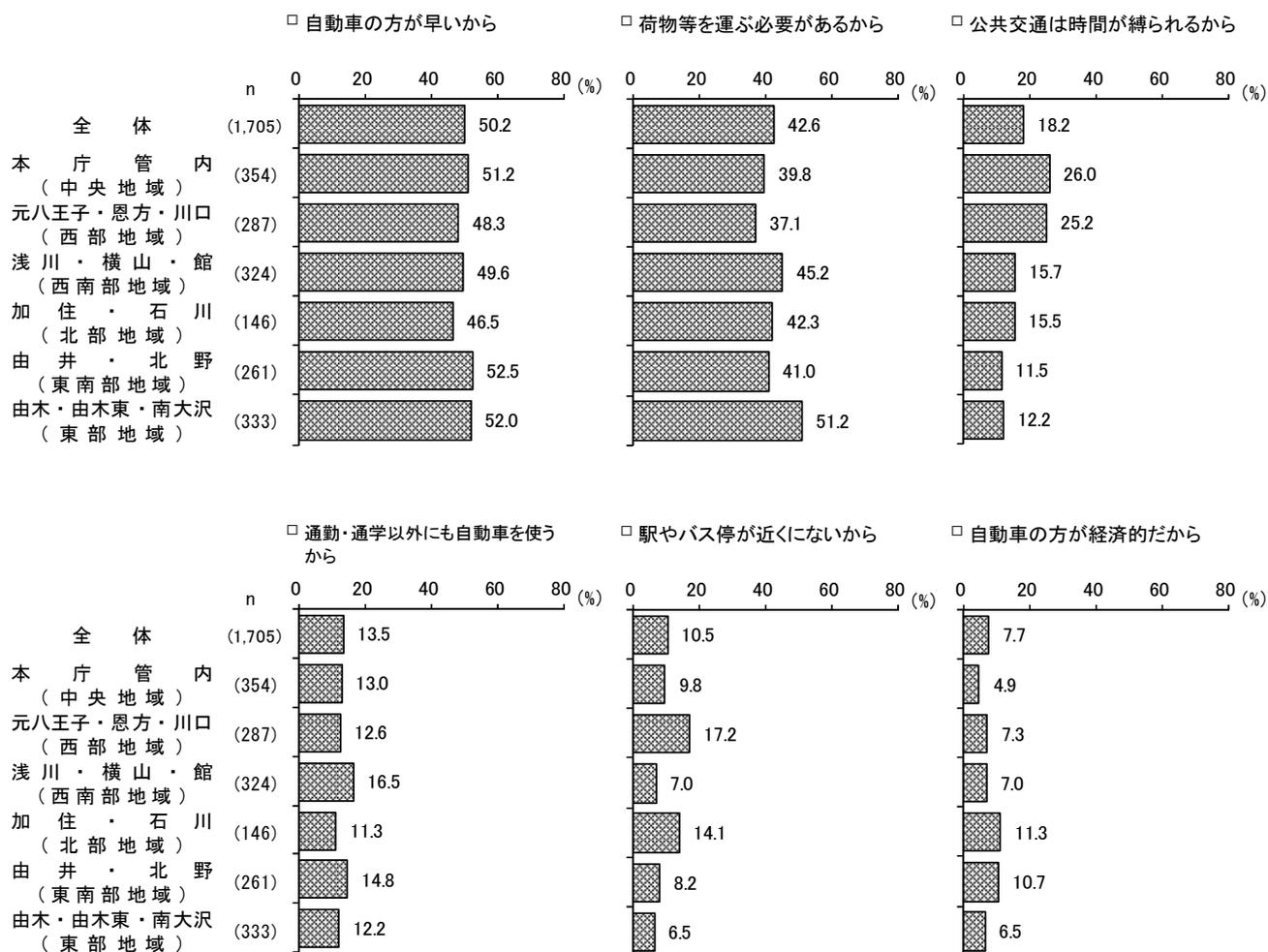
図3-5-2 交通手段として自動車を利用する理由—性別・年齢別



性別にみると、「通勤・通学以外にも自動車を使うから」は男性の方が女性よりも4.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自動車の方が早いから」は20～29歳（53.6%）、50～59歳（54.6%）、60～64歳（53.8%）及び65歳以上（50.7%）で5割以上と多くなっている。「荷物等を運ぶ必要があるから」は65歳以上（52.7%）で5割強と多くなっている。また、「通勤・通学以外にも自動車を使うから」は20～29歳（25.0%）で2割台半ばと多くなっている。（図3-5-2）

図3-5-3 交通手段として自動車を利用する理由—居住地域別



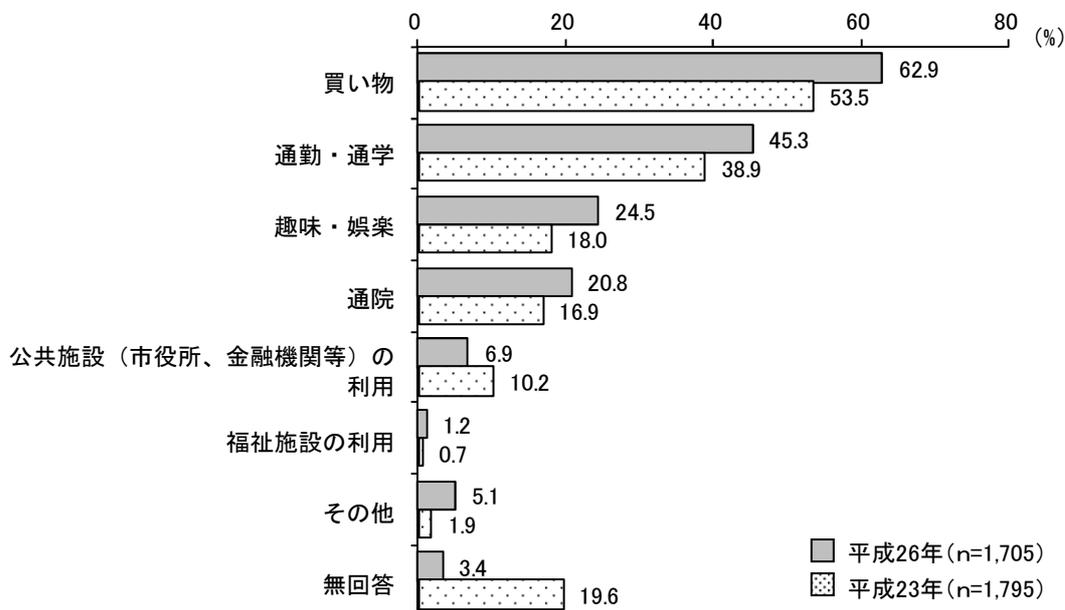
居住地域別にみると、「荷物等を運ぶ必要があるから」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（51.2%）で5割強と多くなっている。「公共交通は時間が縛られるから」は本庁管内（中央地域）（26.0%）と元八王子・恩方・川口（西部地域）（25.2%）で2割台半ばを超え、他の地域と比較して多くなっている。（図3-5-3）

(6) 交通手段を利用する目的

◇「買い物」が6割強

問18 あなたは日常、主にどのような目的で交通手段を利用していますか。(○は2つまで)

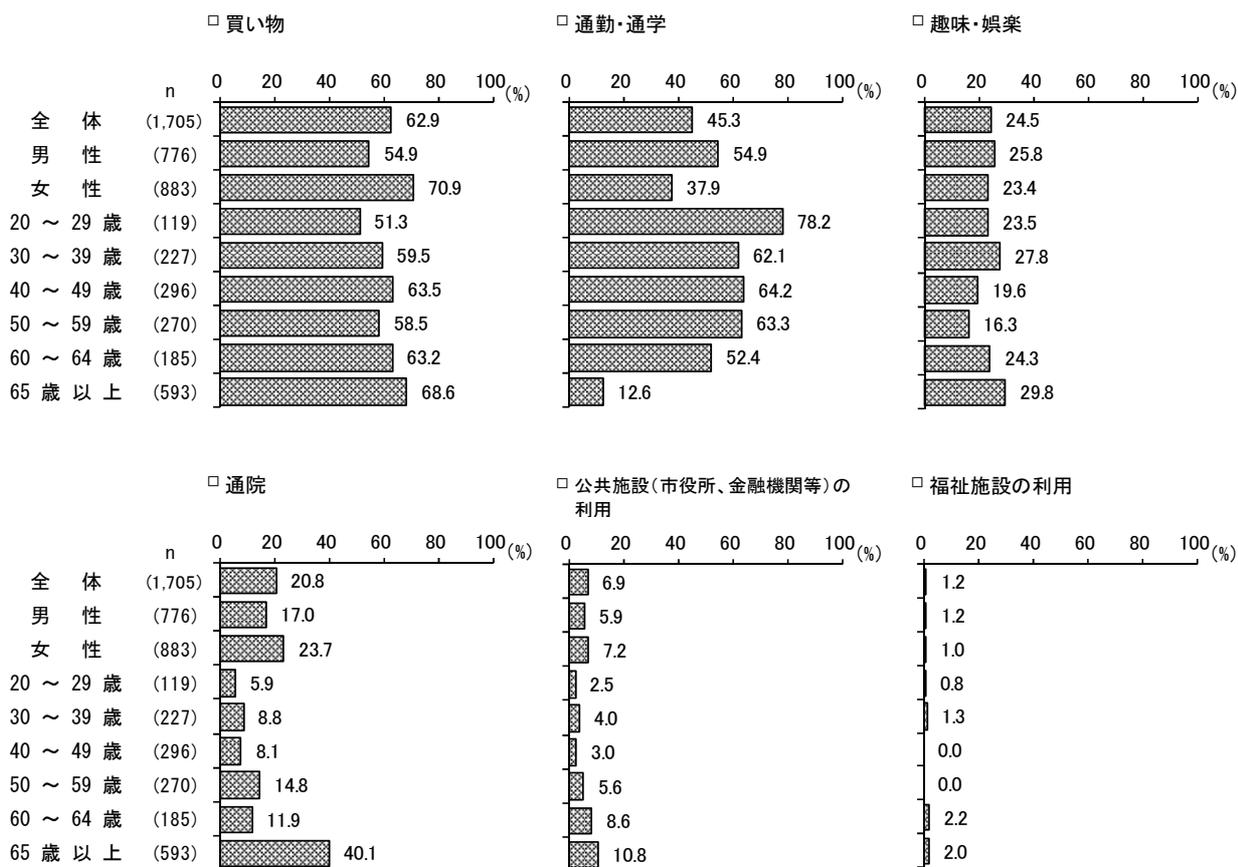
図3-6-1 交通手段を利用する目的—全体、経年比較



日常、主にどのような目的で交通手段を利用しているか聞いたところ、「買い物」(62.9%)が最も多く6割強となっている。次いで「通勤・通学」(45.3%)、「趣味・娯楽」(24.5%)、「通院」(20.8%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「買い物」は9.4ポイント、「趣味・娯楽」は6.5ポイント、「通勤・通学」は6.4ポイント増加している。(図3-6-1)

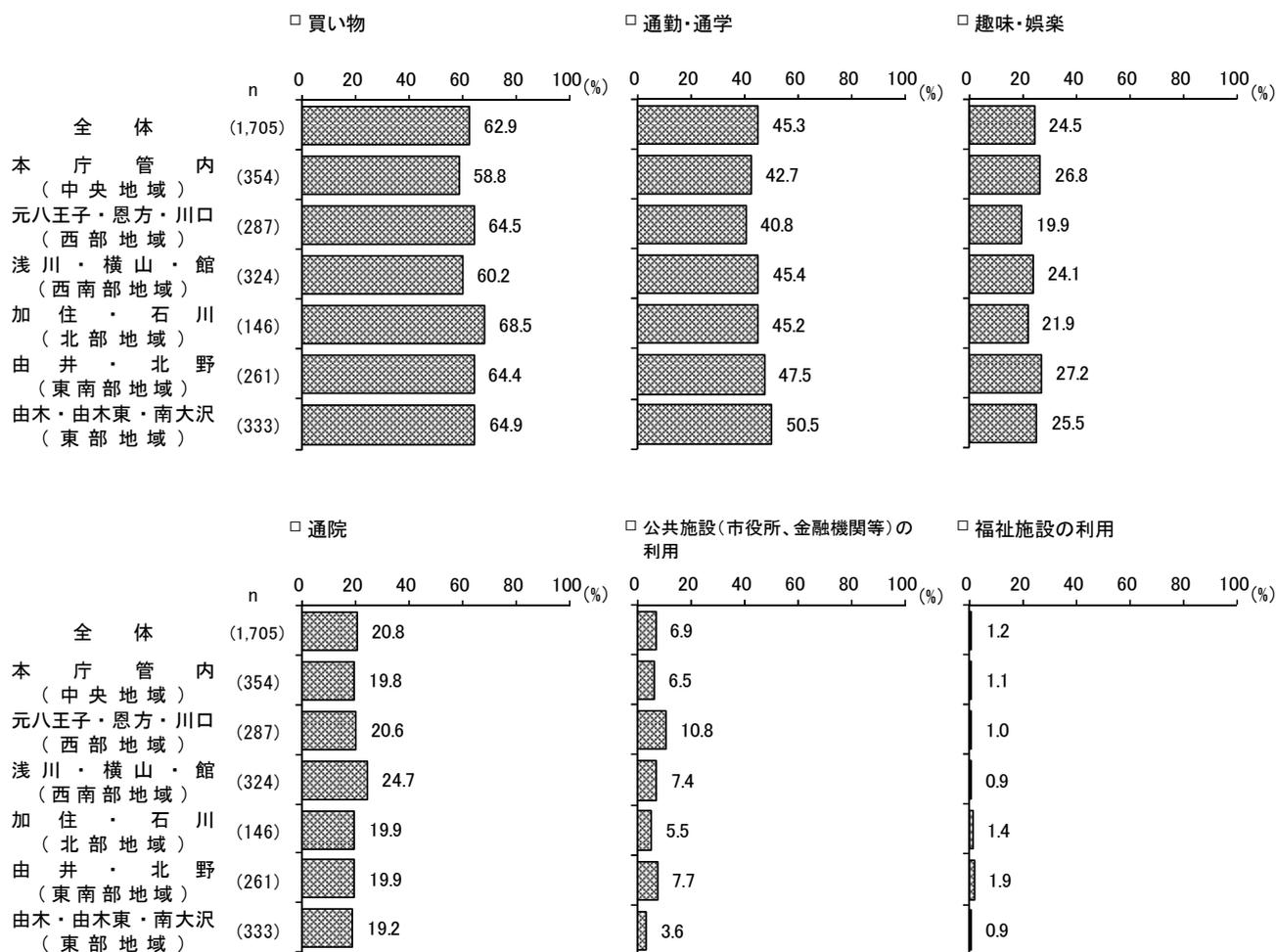
図3-6-2 交通手段を利用する目的—性別・年齢別



性別にみると、「通勤・通学」は男性の方が女性よりも17.0ポイント高く、「買い物」は女性の方が男性よりも16.0ポイント、「通院」は6.7ポイント高くなっている。

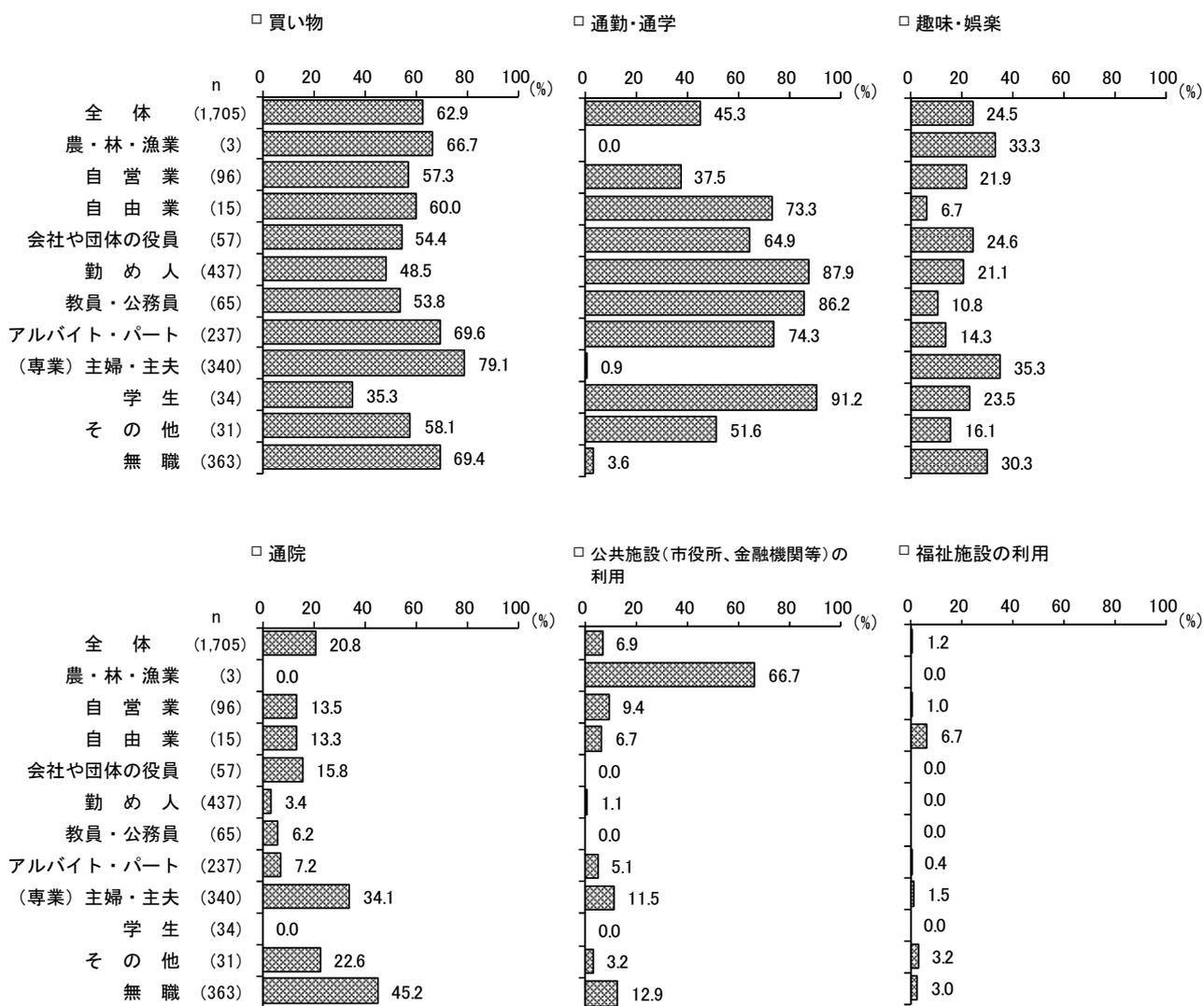
年齢別にみると、「通勤・通学」は20～29歳（78.2%）で8割近くと多くなっている。「通院」は65歳以上（40.1%）で約4割、「趣味・娯楽」も65歳以上（29.8%）で3割弱と、他の年代と比較して多くなっている。（図3-6-2）

図 3-6-3 交通手段を利用する目的—居住地域別



居住地域別にみると、「買い物」は本庁管内（中央地域）を除くすべての地域において6割以上となっている。「通勤・通学」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（50.5%）で約5割と多くなっている。「通院」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（20.6%）と浅川・横山・館（西南部地域）（24.7%）で2割以上と多くなっている。（図 3-6-3）

図3-6-4 交通手段を利用する目的—職業別



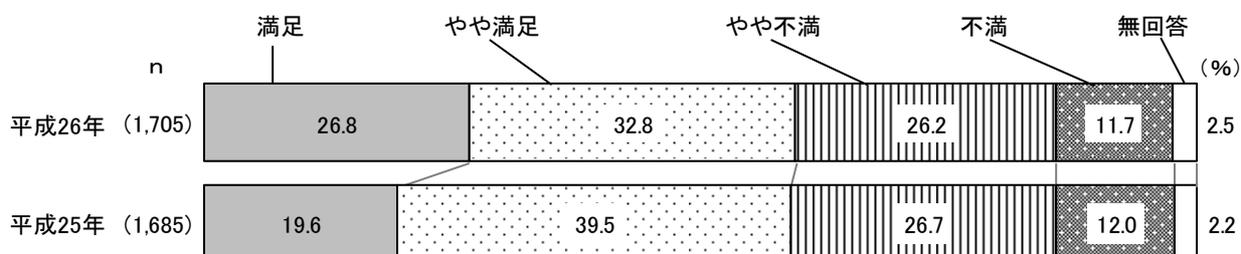
職業別にみると、「買い物」は(専業)主婦・主夫(79.1%)で8割弱と多くなっている。「通勤・通学」は学生(91.2%)、勤め人(87.9%)及び教員・公務員(86.2%)で9割前後と多くなっている。(図3-6-4)

(7) 公共交通の利便性の満足度

◇《満足》が6割弱

問19 あなたは、あなたのお住まいの地域の公共交通（バスや鉄道等）の利便性に満足していますか。（○は1つだけ）

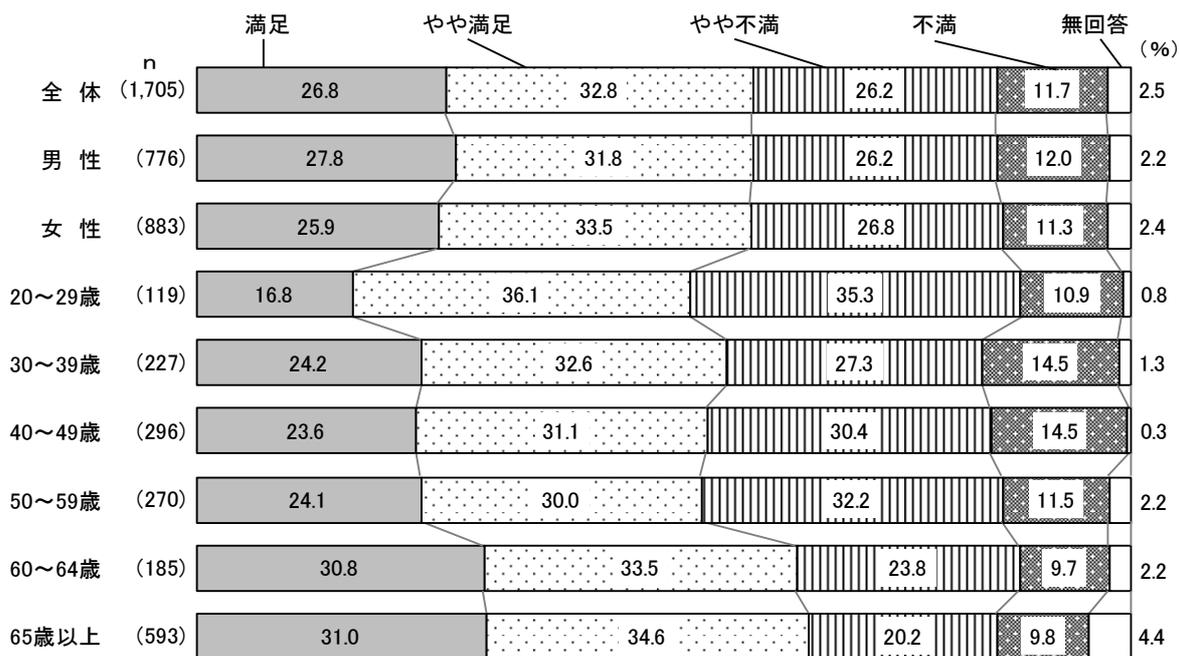
図3-7-1 公共交通の利便性の満足度－全体、経年比較



住まいの地域の公共交通（バスや鉄道等）の利便性に満足しているか聞いたところ、「やや満足」（32.8%）が最も多く3割強を占めている。次いで「満足」（26.8%）、「やや不満」（26.2%）、「不満」（11.7%）の順となっている。「満足」と「やや満足」を合わせた《満足》（59.6%）は6割弱、「やや不満」と「不満」を合わせた《不満》（37.9%）は4割近くとなっている。

前回調査と比較すると、「満足」は7.2ポイント増加し、「やや満足」は6.7ポイント減少しているが、《満足》（59.1%）に変化はみられない。（図3-7-1）

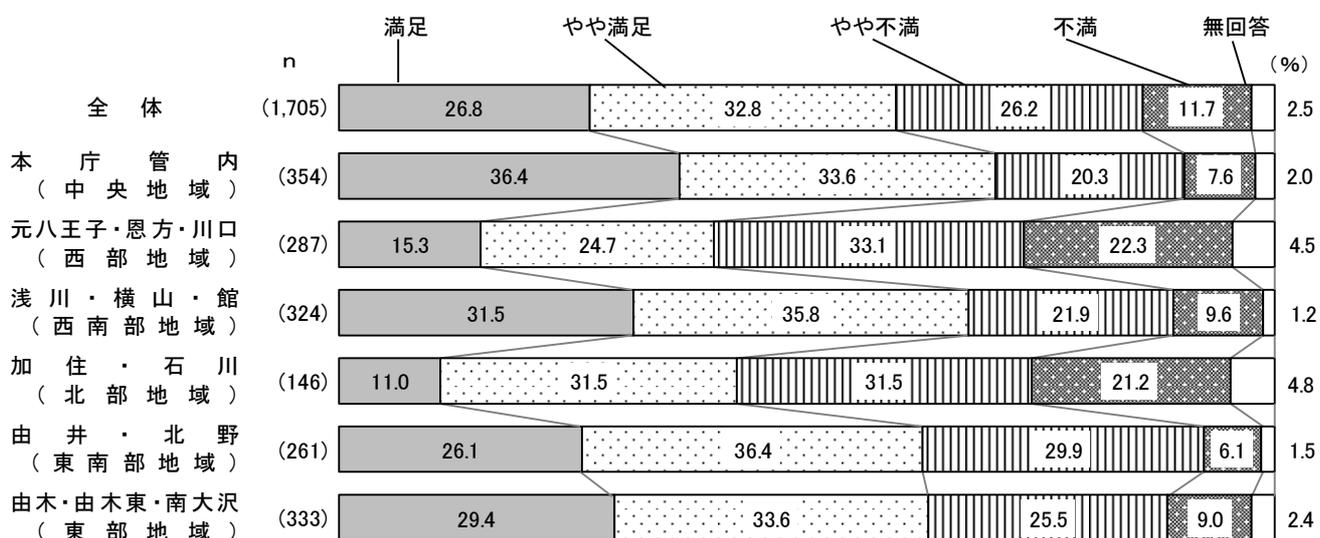
図3-7-2 公共交通の利便性の満足度－性別・年齢別



性別にみると、男性と女性で大きな差はみられない。

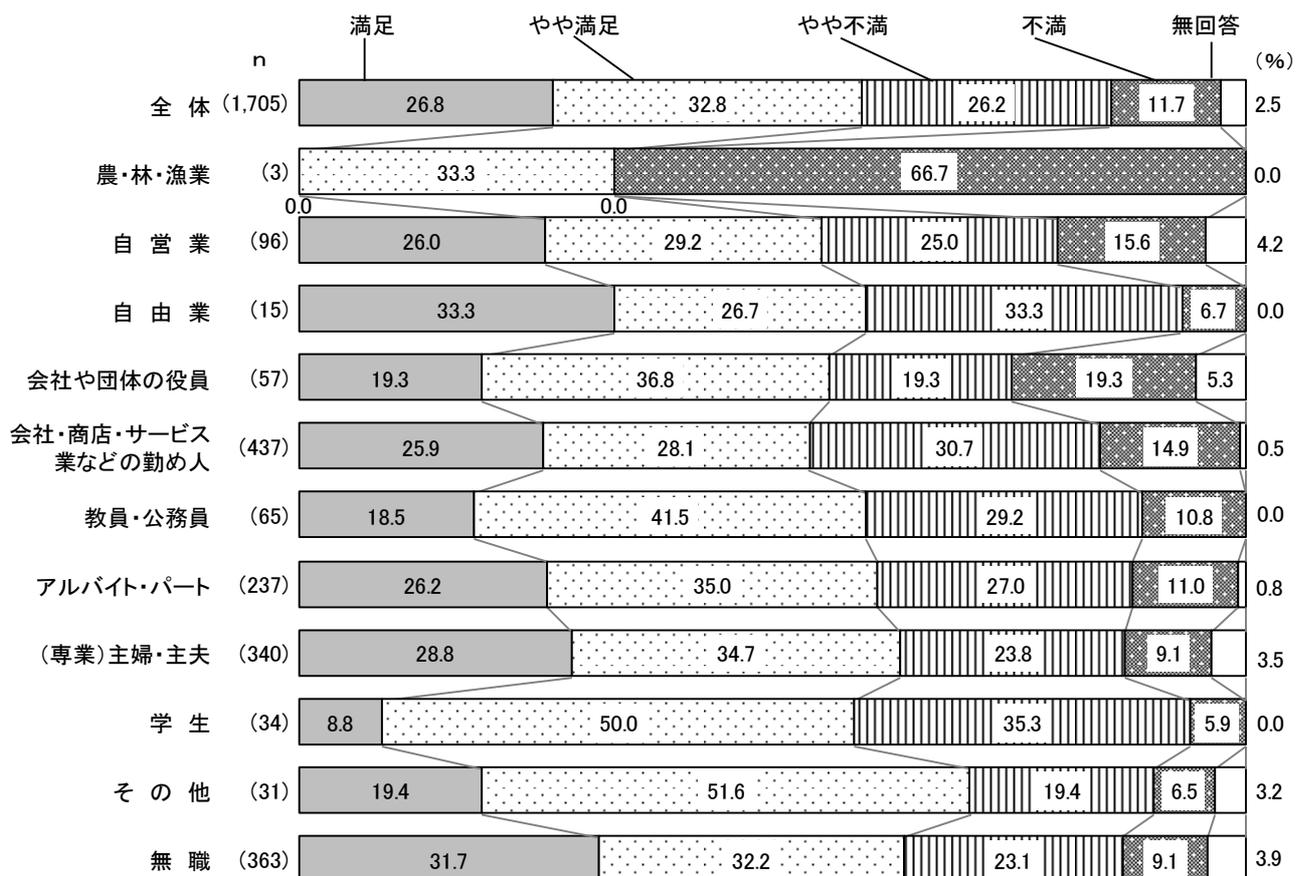
年齢別にみると、「満足」は60～64歳（64.3%）と65歳以上（65.6%）で6割台半ばと、他の年代と比較して多くなっている。（図3-7-2）

図3-7-3 公共交通の利便性の満足度－居住地域別



居住地域別にみると、「満足」は本庁管内（中央地域）（70.0%）で7割と多くなっている。一方、元八王子・恩方・川口（西部地域）（40.0%）と加住・石川（北部地域）（42.5%）では4割台にとどまっている。（図3-7-3）

図3-7-4 公共交通の利便性の満足度—職業別



職業別にみると、《満足》は自由業（60.0%）、教員・公務員（60.0%）、アルバイト・パート（61.2%）及び（専業）主婦・主夫（63.5%）で6割以上と多くなっている。（図3-7-4）

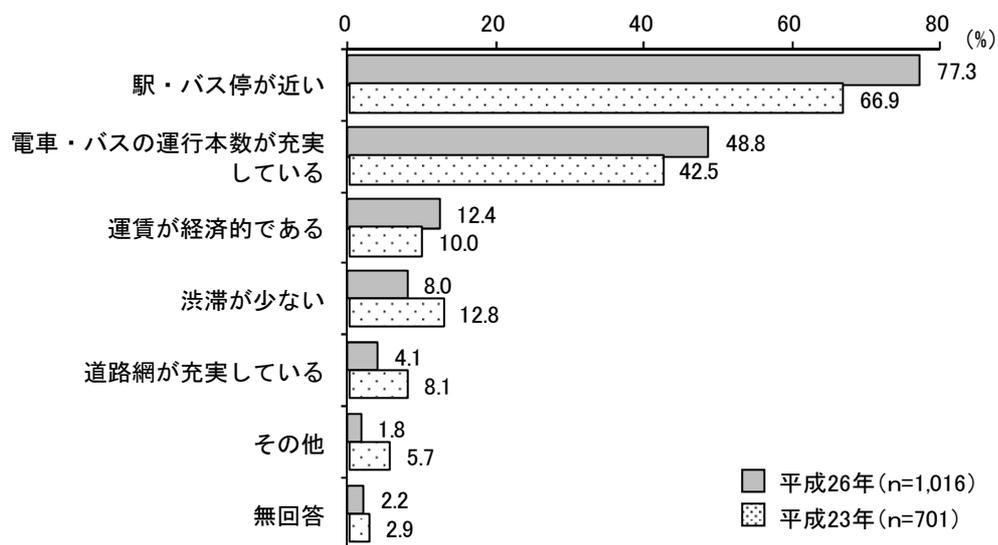
(8) 交通手段利用時に満足している理由

◇「駅・バス停が近い」が8割近く

(問19で「1 満足」または「2 やや満足」とお答えの方に)

問19-1 交通手段利用時に満足している理由は何ですか。(○は2つまで)

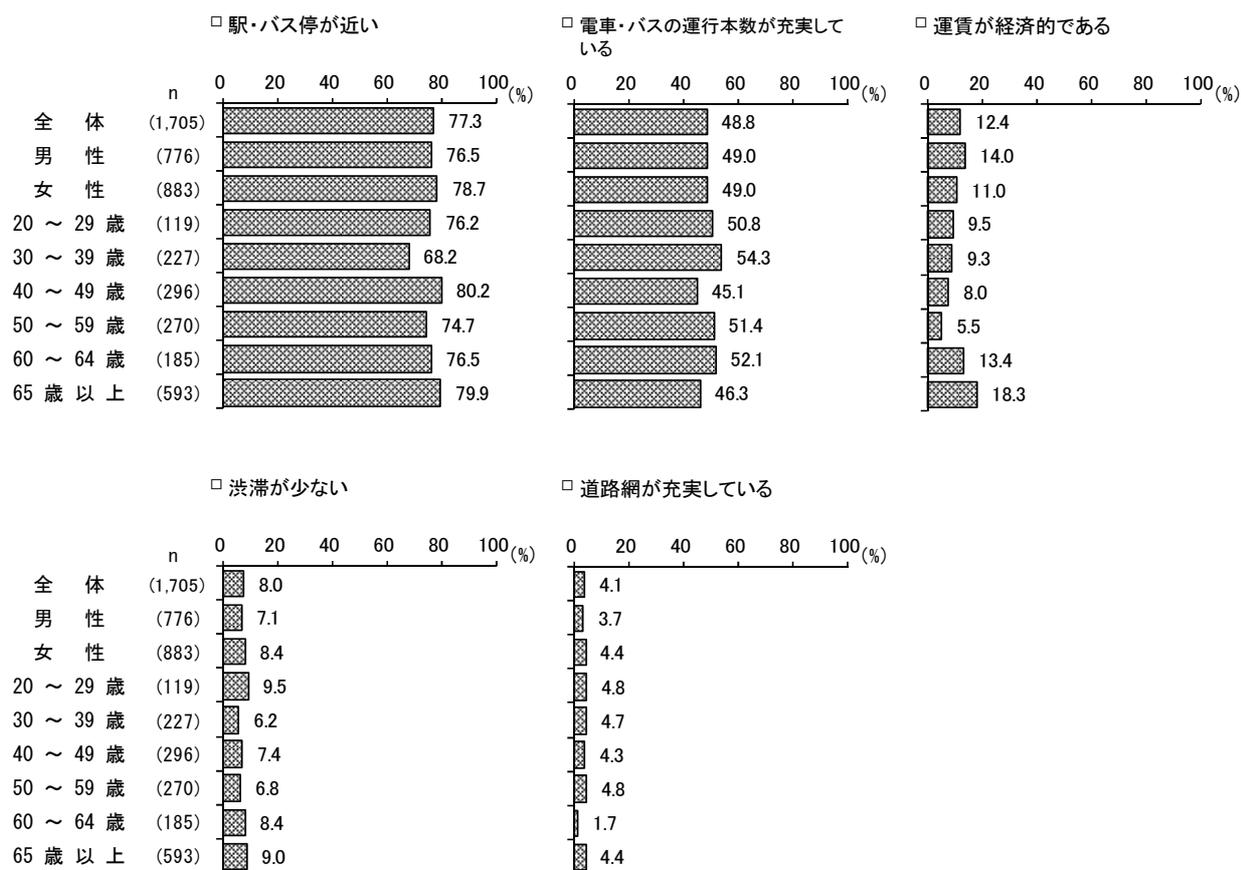
図3-8-1 交通手段利用時に満足している理由—全体、経年比較



住まいの地域の公共交通（バスや鉄道等）の利便性に「満足」「やや満足」と回答した1,016人に、交通手段利用時に満足している理由を聞いたところ、「駅・バス停が近い」（77.3%）が最も多く8割近くとなっている。次いで「電車・バスの運行本数が充実している」（48.8%）、「運賃が経済的である」（12.4%）、「渋滞が少ない」（8.0%）、「道路網が充実している」（4.1%）の順となっている。

前回調査と比較すると、「駅・バス停が近い」は10.4ポイント、「電車・バスの運行本数が充実している」は6.3ポイント増加している。（図3-8-1）

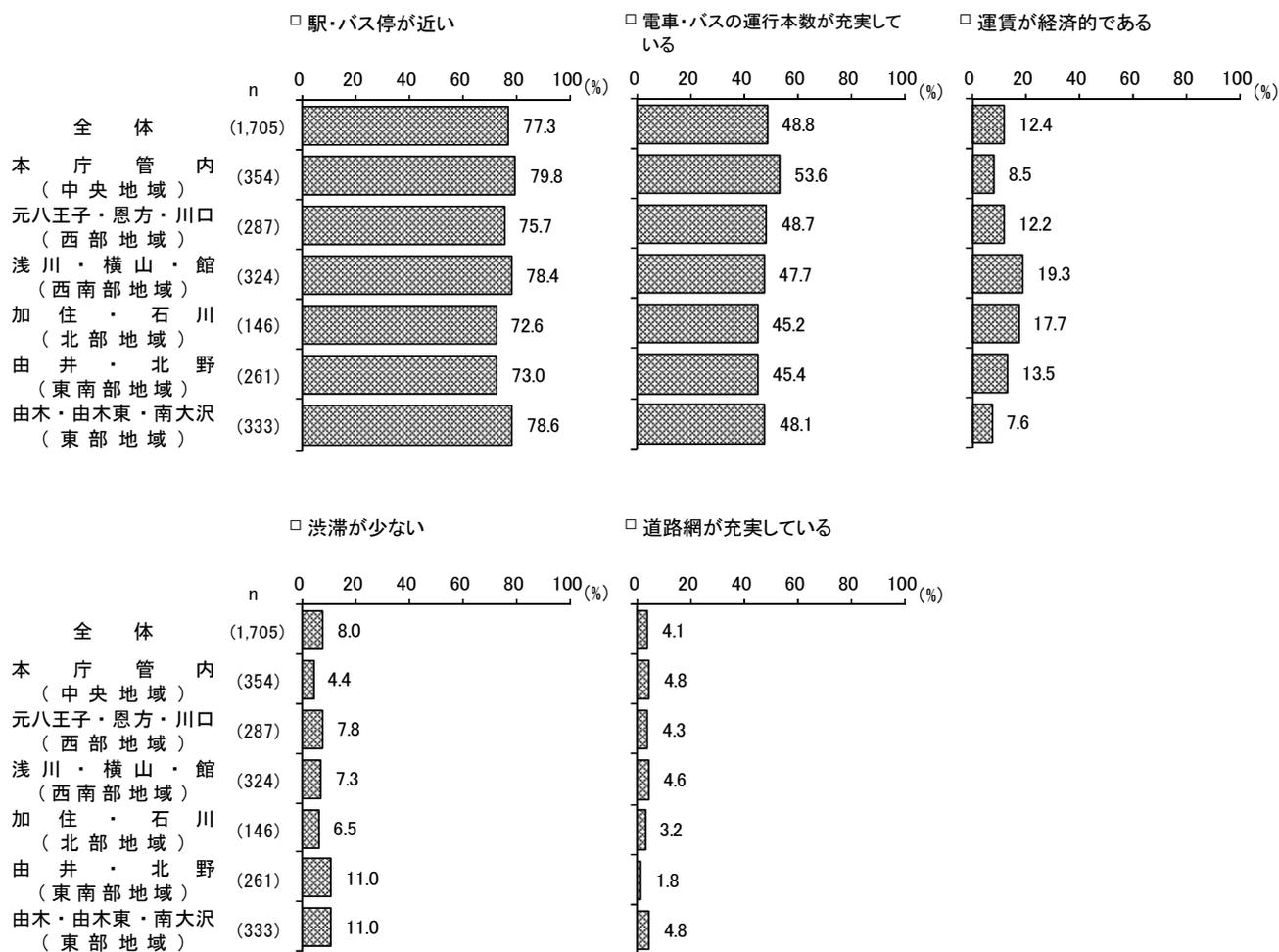
図3-8-2 交通手段利用時に満足している理由—性別・年齢別



性別にみると、男性と女性で大きな差はみられない。

年齢別にみると、「駅・バス停が近い」は40～49歳（80.2%）で約8割と多くなっている。「電車・バスの運行本数が充実している」は40～49歳と65歳以上を除いた年代で5割以上と多くなっている。また、「運賃が経済的である」は60～64歳（13.4%）と65歳以上（18.3%）で1割以上と、他の年代と比較して多くなっている。（図3-8-2）

図 3-8-3 交通手段利用時に満足している理由－居住地域別



居住地域別にみると、「駅・バス停が近い」はすべての地域において7割以上となっており、特に、本庁管内（中央地域）（79.8%）では8割弱と多くなっている。また、「電車・バスの運行本数が充実している」は本庁管内（中央地域）（53.6%）で5割強と多くなっている。「運賃が経済的である」は浅川・横山・館（西南部地域）（19.3%）で2割弱と多くなっている。

(図 3-8-3)

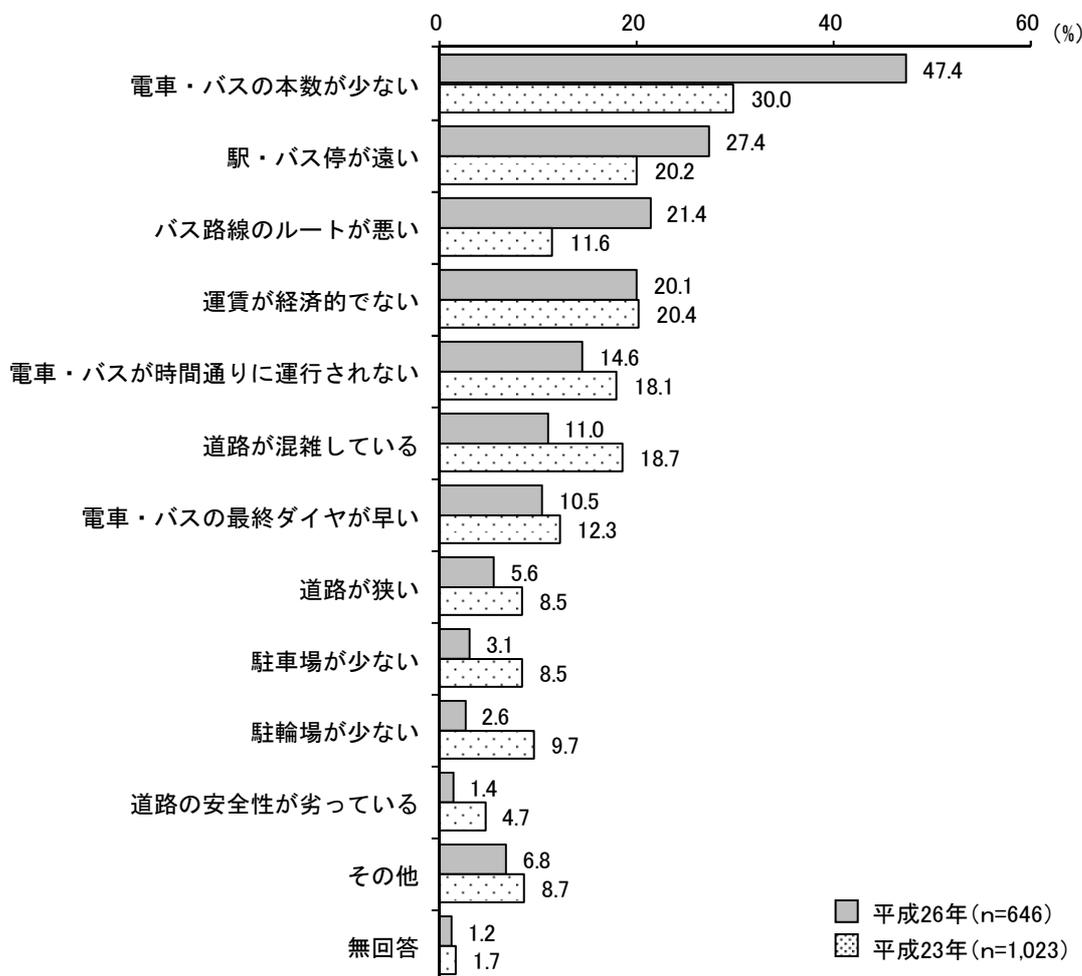
(9) 交通手段利用時に不満を感じる理由

◇「電車・バスの本数が少ない」が5割近く

(問19で「3 やや不満」または「4 不満」とお答えの方に)

問19-2 交通手段利用時に最も不満を感じる理由は何ですか。(○は2つまで)

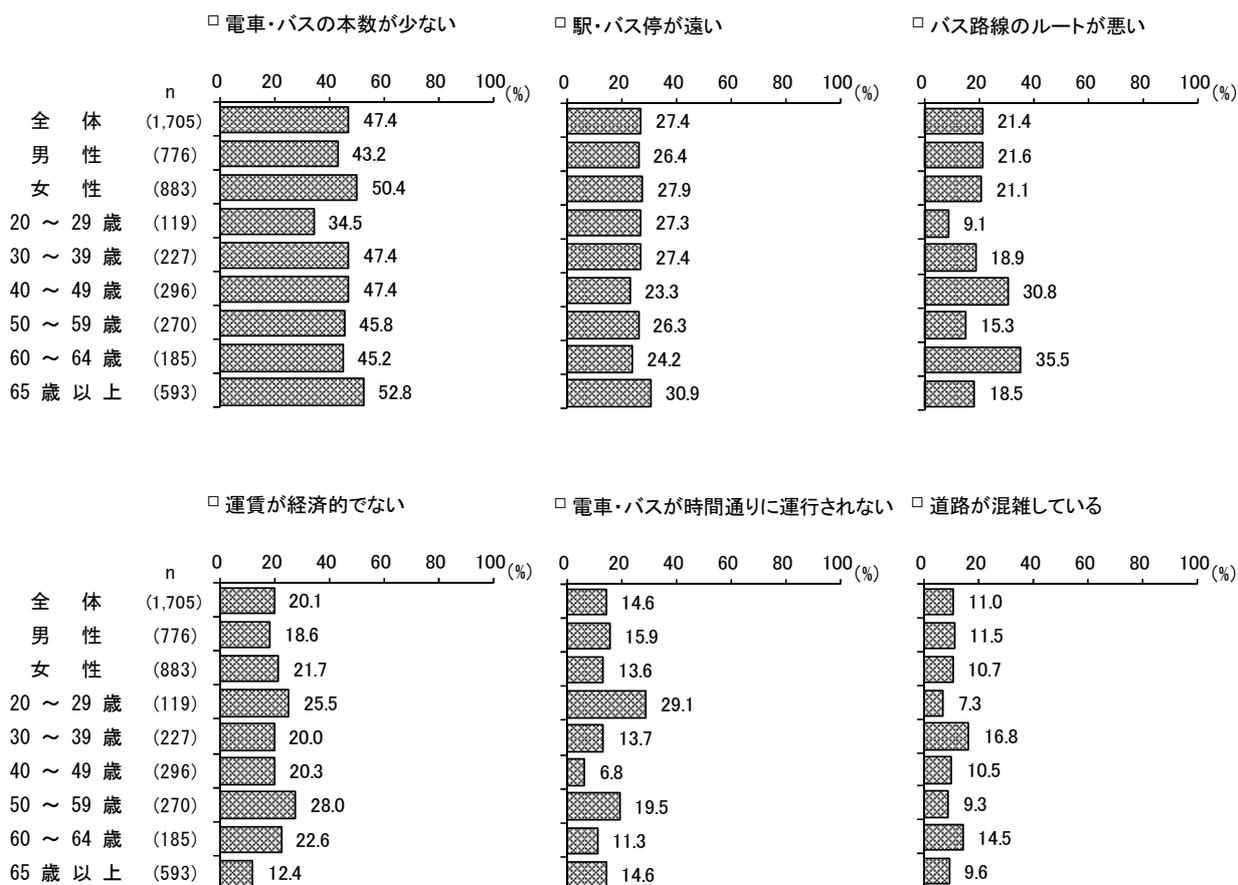
図3-9-1 交通手段利用時に不満を感じる理由—全体、経年比較



住まいの地域の公共交通（バスや鉄道等）の利便性に「やや不満」「不満」と回答した646人に、交通手段利用時に最も不満を感じる理由を聞いたところ、「電車・バスの本数が少ない」（47.4%）が最も多く5割近くとなっている。次いで「駅・バス停が遠い」（27.4%）、「バス路線のルートが悪い」（21.4%）、「運賃が経済的でない」（20.1%）、「電車・バスが時間通りに運行されない」（14.6%）などの順となっている。

前回調査と比較すると、「電車・バスの本数が少ない」は17.4ポイント、「バス路線のルートが悪い」は9.8ポイント増加し、「道路が混雑している」は7.7ポイント減少している。（図3-9-1）

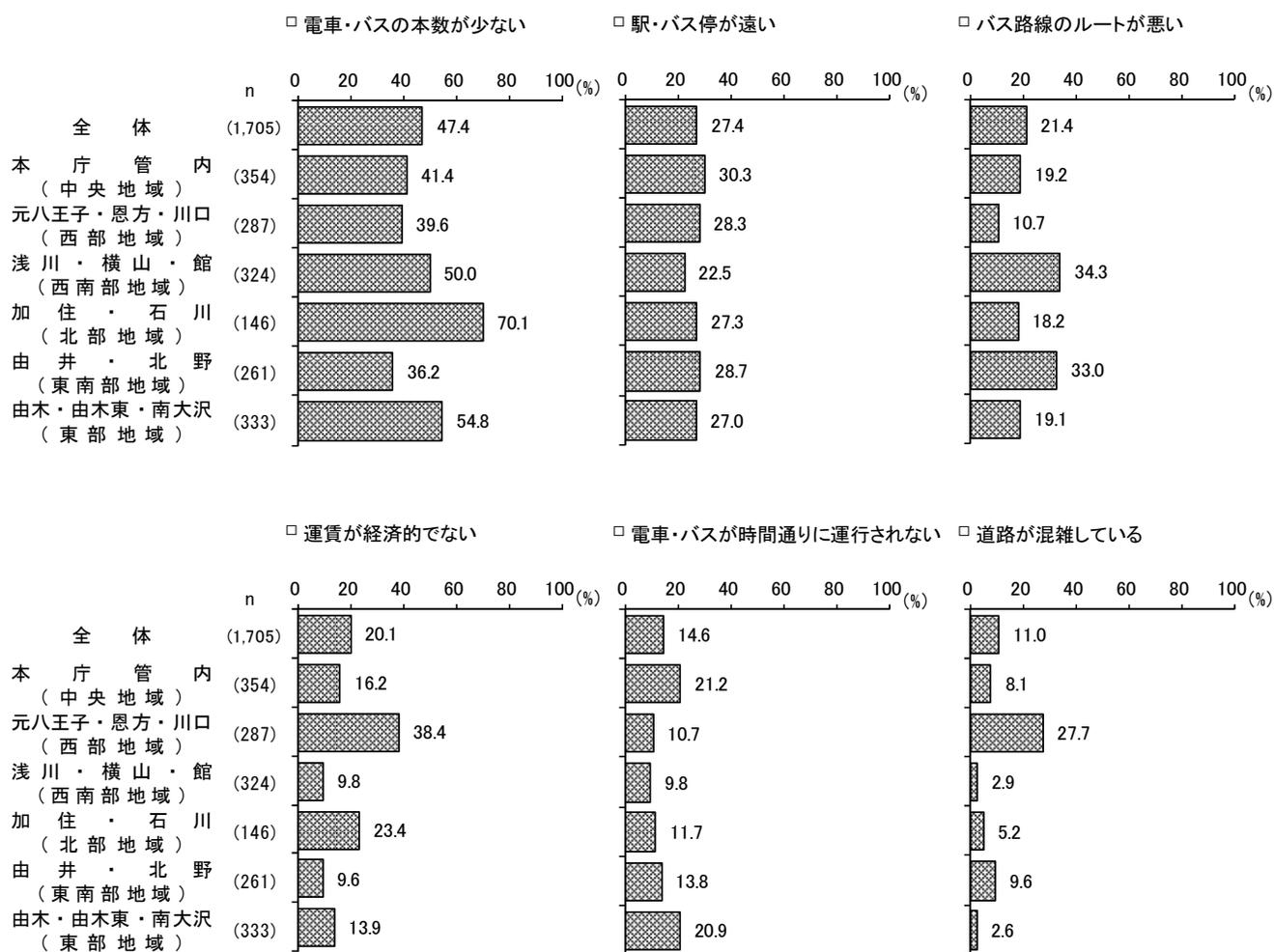
図 3-9-2 交通手段利用時に不満を感じる理由—性別・年齢別（上位 6 位）



性別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は女性の方が男性よりも7.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は65歳以上（52.8%）で5割強、「駅・バス停が遠い」も65歳以上（30.9%）で約3割と、他の年代と比較して多くなっている。「バス路線のルートが悪い」は40～49歳（30.8%）と60～64歳（35.5%）で3割以上と多くなっている。「電車・バスが時間通りに運行されない」は20～29歳（29.1%）で3割弱と多くなっている。（図 3-9-2）

図3-9-3 交通手段利用時に不満を感じる理由—居住地域別（上位6位）



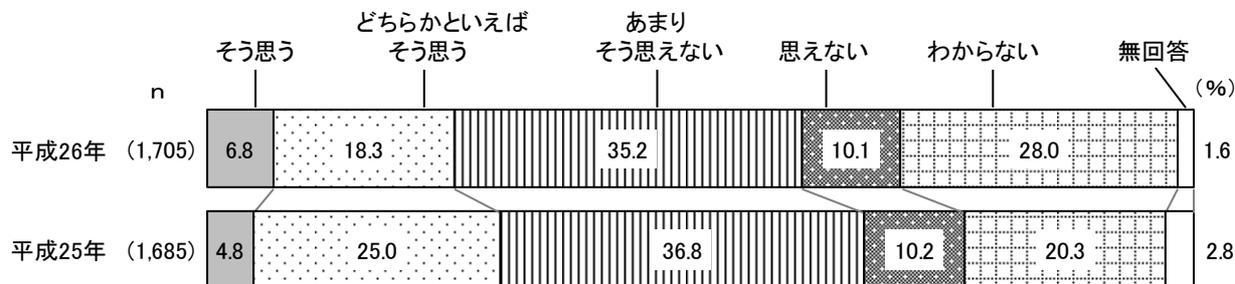
居住地域別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は加住・石川（北部地域）（70.1%）で約7割と最も多くなっている。「バス路線のルートが悪い」は浅川・横山・館（西南部地域）（34.3%）と由井・北野（東南部地域）（33.0%）で3割以上と多くなっている。また、「運賃が経済的でない」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（38.4%）で4割近く、「道路が混雑している」も元八王子・恩方・川口（西部地域）（27.7%）で3割近くと、他の地域と比較して多くなっている。（図3-9-3）

(10) 市内の交通渋滞緩和

◇「あまりそう思えない」が3割台半ば

問20 あなたは、市内の交通渋滞が緩和されていると思いますか。(○は1つだけ)

図3-10-1 市内の交通渋滞緩和—全体、経年比較

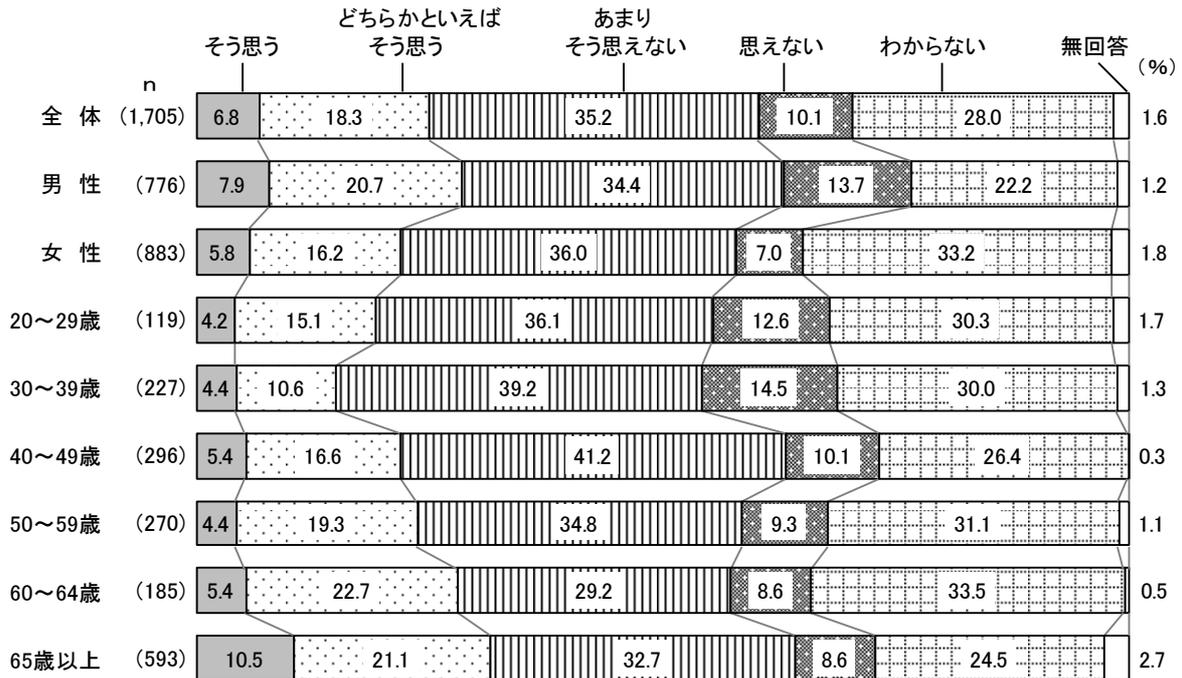


市内の交通渋滞が緩和されていると思うか聞いたところ、「あまりそう思えない」(35.2%)が最も多く3割台半ばを占めている。次いで「わからない」(28.0%)、「どちらかといえばそう思う」(18.3%)、「思えない」(10.1%)、「そう思う」(6.8%)の順となっている。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う》(25.1%)は2割台半ば、「あまりそう思えない」と「思えない」を合わせた《思えない》(45.3%)は4割台半ばとなっている。

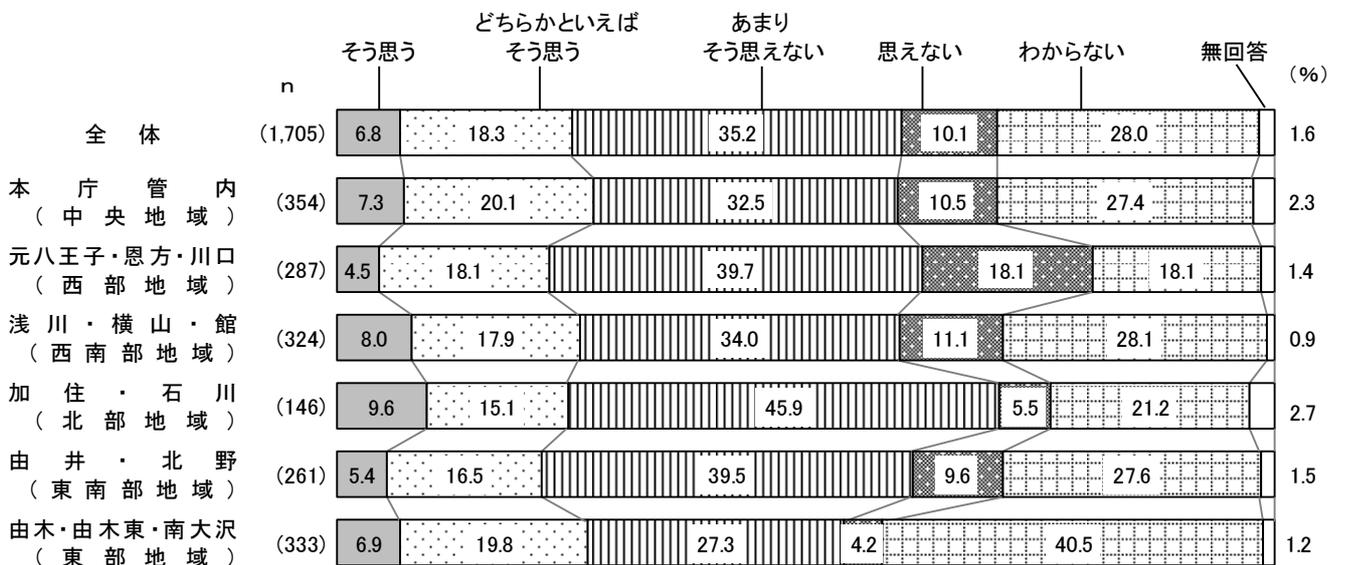
前回調査と比較すると、《そう思う》は4.7ポイント減少している。(図3-10-1)

図 3-10-2 市内の交通渋滞緩和—性別・年齢別



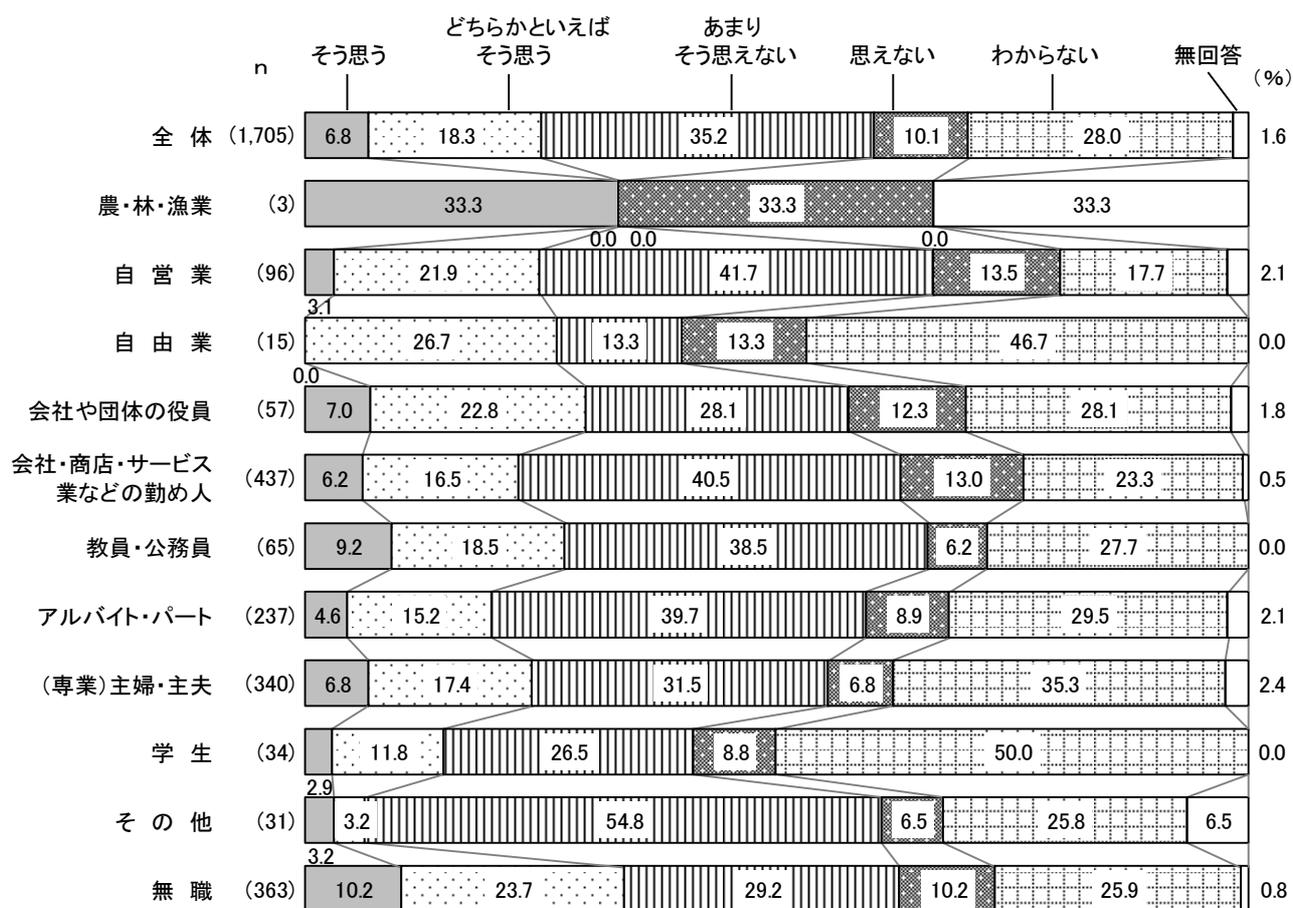
性別にみると、「そう思う」は男性の方が女性よりも6.6ポイント高くなっている。
年齢別にみると、「そう思う」は65歳以上（31.6%）で3割強と多くなっている。（図 3-10-2）

図 3-10-3 市内の交通渋滞緩和—居住地域別



居住地域別にみると、「思えない」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（57.8%）で6割近くと多くなっている。（図 3-10-3）

図3-10-4 市内の交通渋滞緩和—職業別



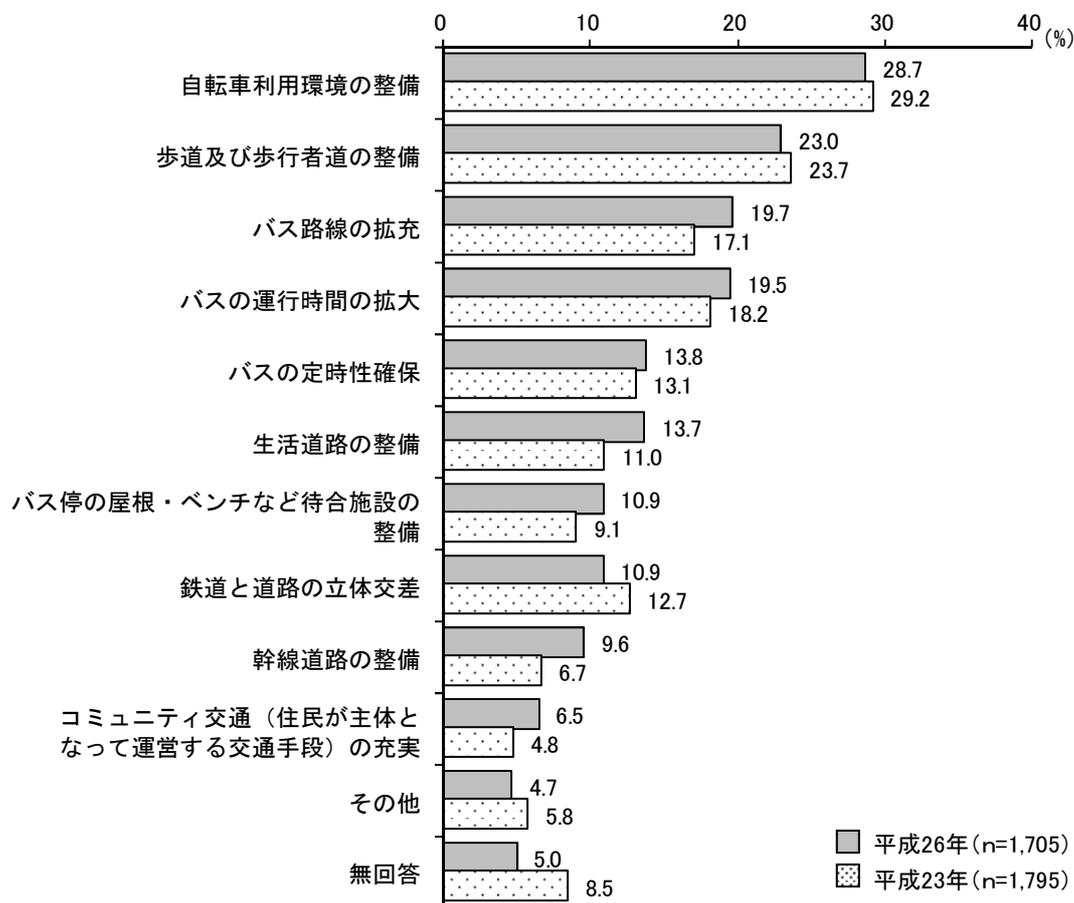
職業別にみると、「そう思う」は会社や団体の役員（29.8%）で3割弱と多くなっている。一方、「思えない」は自営業（55.2%）と会社・商店・サービス業などの勤め人（53.5%）で5割以上と多くなっている。（図3-10-4）

(11) 交通環境の整備に期待すること

◇「自転車利用環境の整備」が3割近く

問21 あなたが、今後の交通環境の整備に最も期待することは何ですか。(○は2つまで)

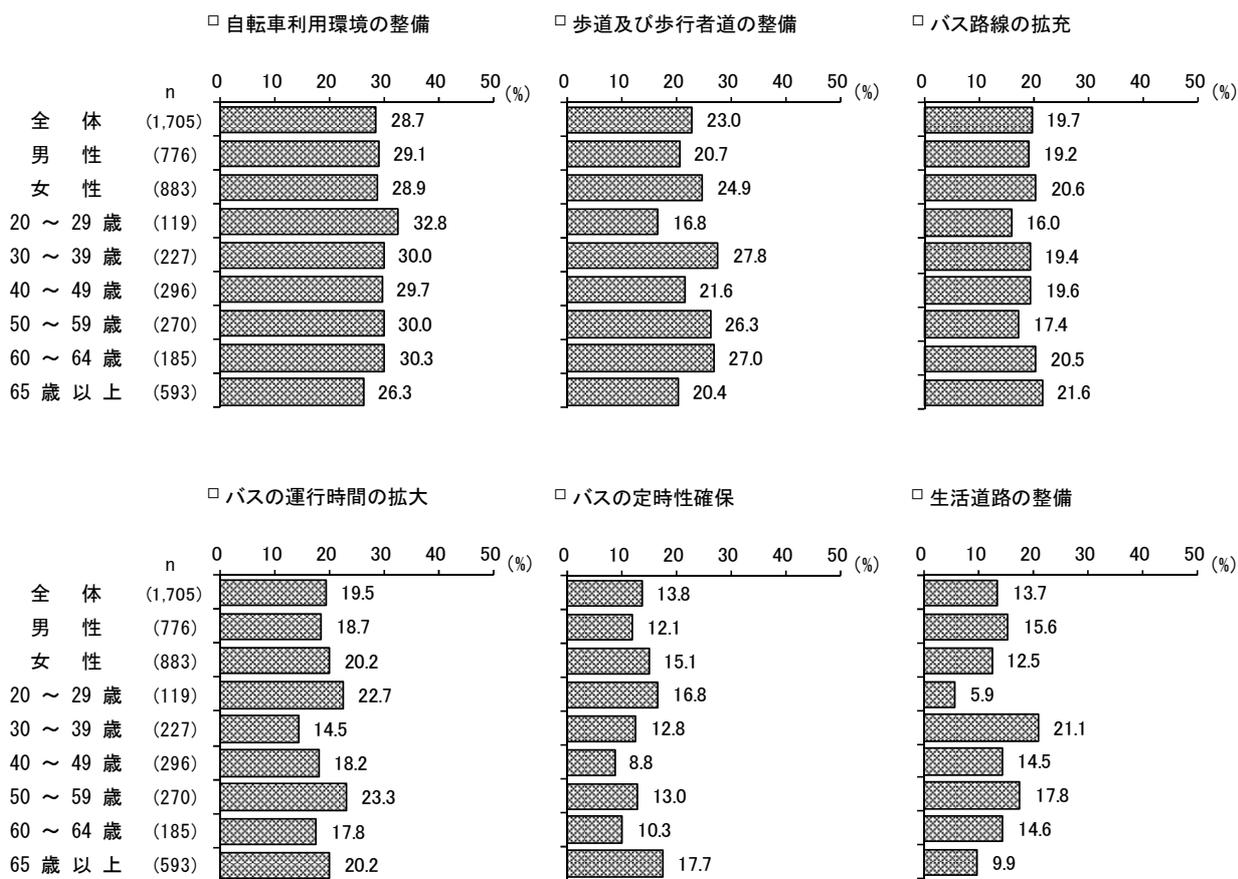
図3-11-1 交通環境の整備に期待することー全体、経年比較



今後の交通環境の整備に最も期待することを聞いたところ、「自転車利用環境の整備」(28.7%)が最も多く3割近くとなっている。次いで「歩道及び歩行者道の整備」(23.0%)、「バス路線の拡充」(19.7%)、「バスの運行時間の拡大」(19.5%)、「バスの定時性確保」(13.8%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、あまり大きな変化はみられないが、「バス路線の拡充」や「生活道路の整備」は割合が多くなっている。(図3-11-1)

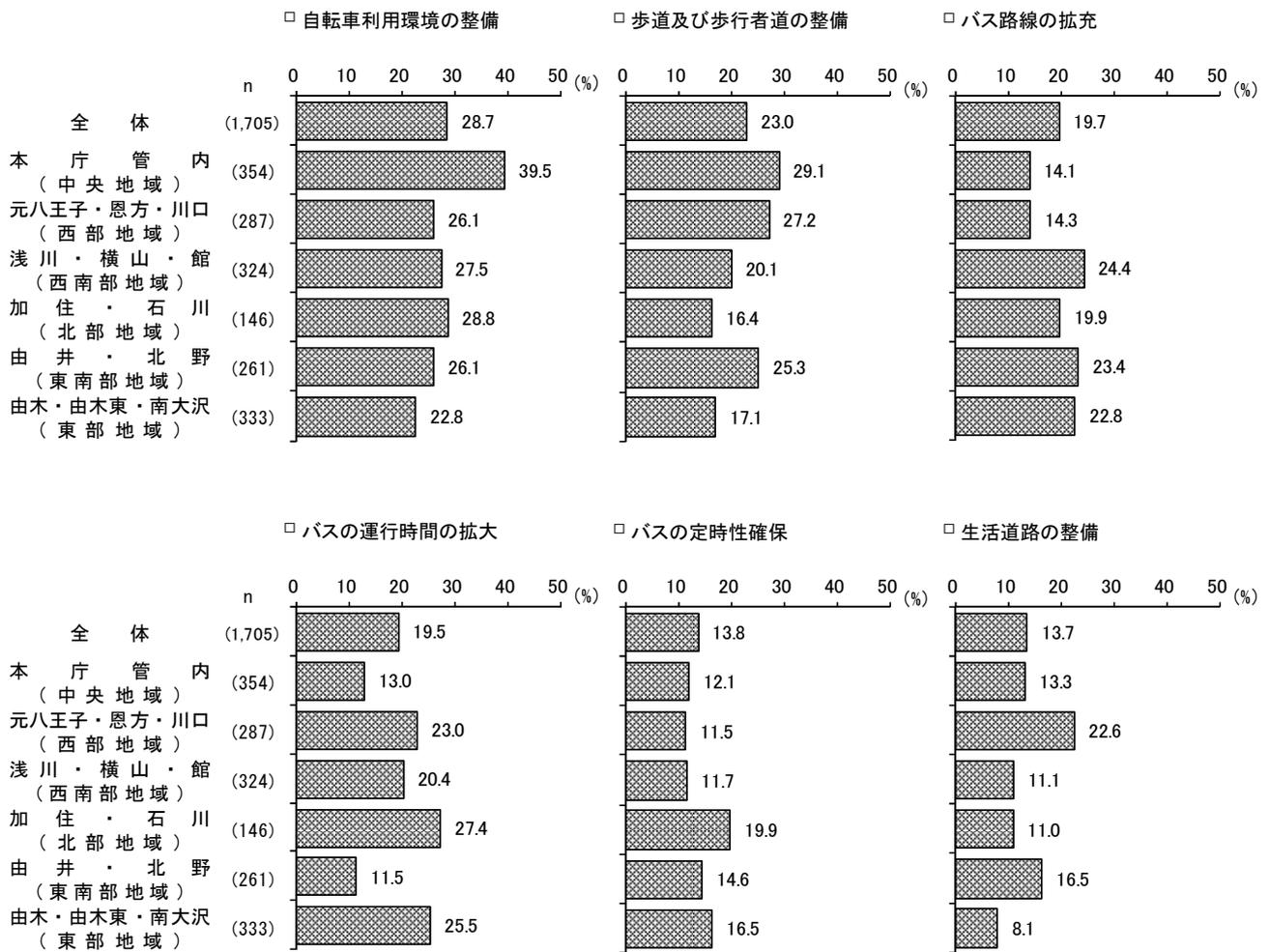
図3-11-2 交通環境の整備に期待すること—性別・年齢別（上位6位）



性別にみると、「歩道及び歩行者道の整備」は女性の方が男性よりも4.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自転車利用環境の整備」は20～29歳（32.8%）で3割強と多くなっている。「バス路線の拡充」は60～64歳（20.5%）と65歳以上（21.6%）で2割以上と多くなっている。「生活道路の整備」は30～39歳（21.1%）で2割強と多くなっている。（図3-11-2）

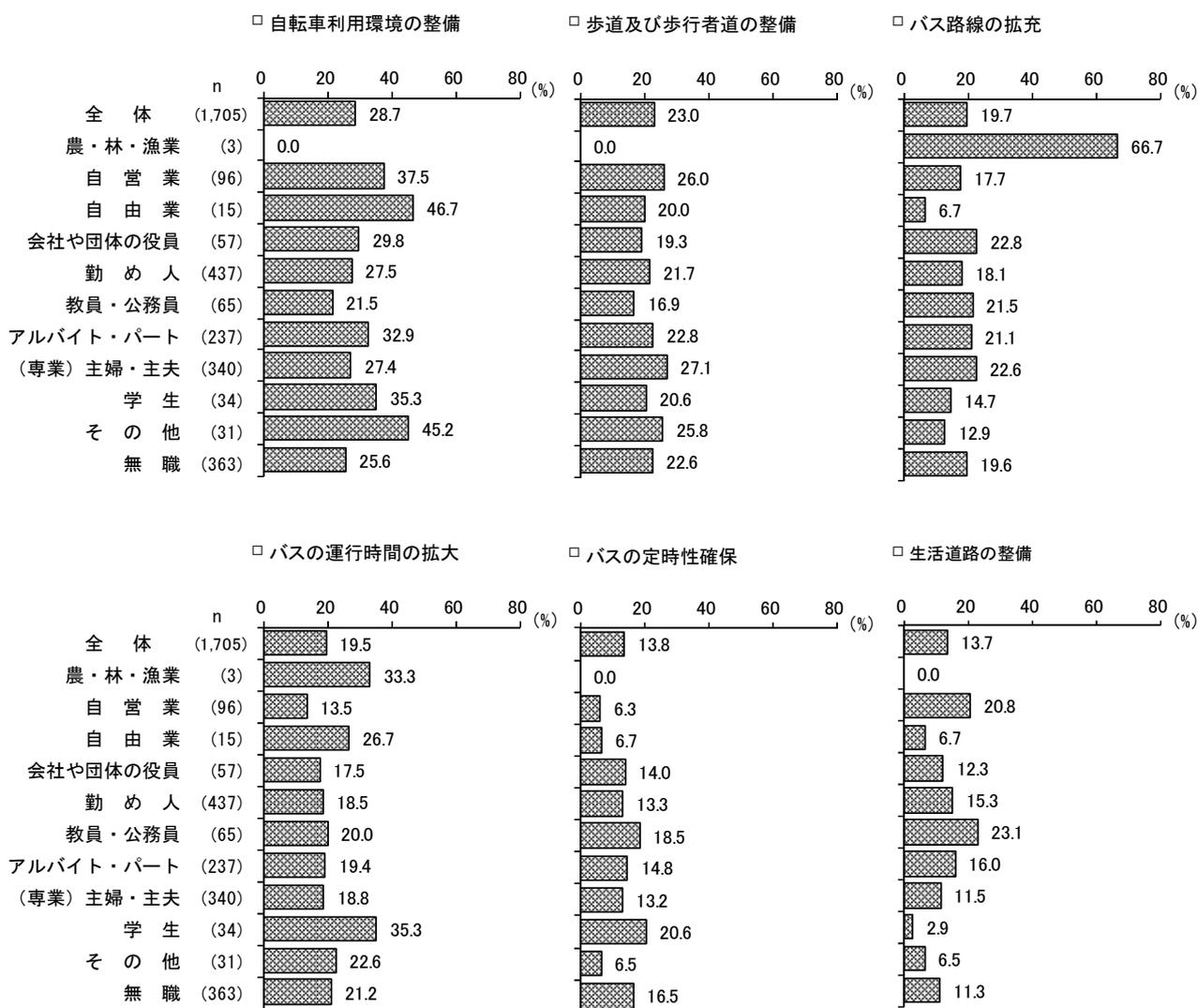
図3-11-3 交通環境の整備に期待すること—居住地域別（上位6位）



居住地域別にみると、「自転車利用環境の整備」は本庁管内（中央地域）（39.5%）で4割弱、「歩道及び歩行者道の整備」も本庁管内（中央地域）（29.1%）で3割弱と、他の地域と比較して多くなっている。「バス路線の拡充」は浅川・横山・館（西南部地域）（24.4%）、由井・北野（東南部地域）（23.4%）及び由木・由木東・南大沢（東部地域）（22.8%）で2割以上と多くなっている。「バスの定時性確保」は加住・石川（北部地域）（19.9%）で2割弱と多くなっている。

（図3-11-3）

図3-11-4 交通環境の整備に期待すること－職業別



職業別にみると、「自転車利用環境の整備」は自由業（46.7%）で5割近くと多くなっている。「バスの運行時間の拡大」は学生（35.3%）で3割台半ば、「バスの定時性確保」は学生（20.6%）で約2割と、他の職業と比較して多くなっている。（図3-11-4）

(12) 交通環境の整備についての意見

問22 その他、今後の交通環境の整備についてご意見がありましたらご記入ください。

交通環境について自由に記述していただいたところ、290票の様々な意見が寄せられ、以下は回答内容を分類し、まとめたものである。一人で複数の意見等を回答している場合は、それぞれ1件として数えている。

分類	内容	件数
バス	路線バスの運行について	40
	コミュニティバスについて	12
	料金について	10
鉄道	J R（横浜線、八高線、中央線）の運行について	13
	モノレールについて	8
	J Rと京王線の乗り換えについて	6
自動車	運転者のマナーの悪さ、取り締まりの強化について	9
	駐車場の拡充・整備について	7
自転車	自転車専用道路の整備について	50
	駐輪場の拡充・整備について	19
	利用者のマナーの悪さ、注意指導の強化について	17
道路	道路の整備・改良について	43
	歩道の整備・改良について	26
	渋滞（緩和）について	18
	交通安全対策について	6
	バイパスの無料化等について	5
	夜間の街灯整備について	2
その他	除雪作業の迅速・対策について	15
	駅前整備について	6
	交通環境の差・交通手段のない地域への対策について	4
	第3の交通（路面電車、L R T導入）について	3
	信号機のタイミングについて	2
	その他	22
合 計		343